

創立50周年記念誌

50年のあゆみ



**Hasuda Sports
Association**

蓮田市スポーツ協会

創立50周年記念誌

50年のあゆみ



蓮田市スポーツ協会



昭和63年
ソフトボール
春季市民スポーツ大会
開会式



平成19年 第12回はすだシティマラソン大会



平成28年度 蓮田市体育賞受賞のみなさん



平成29年度 第45回蓮田市体育協会
(現蓮田市スポーツ協会) 定期総会



平成29年度 市民スポーツ大会総合開会式 選手宣誓

目 次

発刊にあたって	蓮田市スポーツ協会会長	庄 山 勝 義	1
祝 辞	公益財団法人埼玉県スポーツ協会会長	大 野 元 裕	2
	蓮田市市長	山 口 京 子	3
	蓮田市議会議長	齋 藤 昌 司	4
	蓮田市教育委員会教育長	西 山 通 夫	5
スポーツ協会のあゆみ			6
加盟団体紹介			
1	野球連盟		11
2	バレーボール連盟		17
3	卓球連盟		21
4	ソフトテニス連盟		27
5	剣道連盟		35
6	空手道連盟		37
7	サッカー協会		39
8	柔道会		41
9	ソフトボール協会		43
10	テニス協会		49
11	バドミントン連盟		53
12	スキー連盟		59
13	太極拳協会		63
14	蓮田合気会		65
15	陸上競技協会		69
16	バスケットボール連盟		73
17	中学校体育連盟		75
スポーツ協会組織図			76
スポーツ協会常任理事			77
規 約			
1	蓮田市スポーツ協会規約		78
2	蓮田市スポーツ協会表彰規程		81
編集後記			83



創立50周年を迎えて

蓮田市スポーツ協会
会長 庄山 勝義

蓮田市スポーツ協会は、令和4年10月に創立50周年を迎えました。これもひとえに蓮田市、蓮田市教育委員会、並びに歴代会長と多くの役員、先輩、指導者、関係者の皆様のたゆまぬご指導とご支援、ご協力の賜と心から敬意を表し感謝申し上げます。

そしてここに「創立50周年記念誌」を一つの節目として発刊できますことは、このうえない喜びでございます。この記念誌発刊にあたりましては、多くの皆様にご協力とご尽力をいただき、誠にありがとうございました。心よりお礼申し上げます。

昭和47年、蓮田市制施行と同時期に創立した蓮田市体育協会のスポーツ団体は7団体でしたが、令和3年4月1日から蓮田市スポーツ協会に名称変更致しました現在は17団体となっております。

これまでの50年間には社会的にも様々な出来事や変化がありましたが、それらに左右されることなく、蓮田市のスポーツは若年層の育成と同時にシニア層にまで続く生涯スポーツの充実に向けて取り組んでまいりました。その成果は、近年の小学生、中学生、高校生の県大会、関東大会、全国大会出場での目覚ましい実績をあげている選手が多数育ってきていることにあると思っております。また、シニア層においても全国大会、関東大会、県大会等において素晴らしい活躍を残されている実績は今後の蓮田市のスポーツに心強い力となり、大変喜ばしいことであります。

これからの日本は、少子高齢化とともに人口減少傾向に進む時代を迎えていると危惧されておりますが、今後の蓮田市スポーツ協会の目指すところは、一人でも多くの皆様がスポーツに親しみながら健康な日々を楽しく過ごせる環境づくりを目指して努力していくことではないかと考えております。

蓮田市スポーツ協会はスポーツの普及と地域振興、スポーツ環境の充実と発展、そして皆様の健康寿命の延伸を目指して努力してまいります。

今後とも蓮田市スポーツ協会への皆様の一層のご支援とご協力をお願い申し上げまして、ごあいさつといたします。



祝 辞

公益財団法人埼玉県スポーツ協会
会長 大野 元 裕

蓮田市スポーツ協会創立50周年、誠におめでとうございます。改めまして50周年という記念すべき年を迎えられましたことに対し、心からお祝い申し上げますとともに、これまでご尽力された会長をはじめとする役員の方々に深く敬意を表するものであります。

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）により、スポーツ活動が思う様に出来ない状況の中、貴協会は加盟団体と協働して検温・アルコール消毒・マスクの着用の義務づけのほか、3つの密（密閉・密集・密接）の回避や人流等を工夫するなど感染対策を徹底し、創意工夫して市内のスポーツ大会等が開催出来たのも貴協会のリーダーシップと献身的な取り組みの賜と感銘を受けております。

私たちスポーツ愛好者は、苦しい試合展開や劣勢な状況であってもルールを守り、刻々と変わる戦況を自ら判断し勝利に導く努力が出来るものと信じています。そして、貴協会関係の皆さまには、長年培われた英知を活かし、新しい生活様式を取り入れた運動機会を創出し、市民の皆さまの協力と貴協会の組織力で、人生100年時代に向けた健康づくりの場の充実や、あらゆる世代の方々が参画する世代間交流の広がりや地域の活性化を実現させ、スポーツで笑顔あふれる日本一暮らしやすい埼玉づくりをリードして頂きたいと存じます。

本会では、東京2020オリンピック・パラリンピック開催後のレガシーについて、オリンピック・パラリンピックで高まった県民のスポーツへの関心や感動を引き継ぎ、県民誰もがスポーツを身近に楽しむことができるよう、環境づくりを進めてまいります。貴協会におかれましても、各種加盟団体や市民の皆さまと一体となり、市民一人一人が主役として身近でスポーツに親しめる環境がより一層充実されることを願っております。

結びに、この50周年を契機に、蓮田市スポーツ協会の更なるご発展と皆さまのご健康でのご活躍を心よりご祈念申し上げ、祝辞とさせていただきます。



蓮田市スポーツ協会創立50周年に寄せて

蓮田市長 山口京子

蓮田市スポーツ協会が創立50周年を迎えられ、ここに記念誌が刊行されますことを心からお祝い申し上げます。蓮田市スポーツ協会の皆様には、日頃より市内体育団体との連絡協調を図りながら、スポーツの普及発展にご尽力をいただき、厚くお礼申し上げます。また、会長の庄山勝義様をはじめ、会員の皆様には蓮田市全体のスポーツ推進のためにご活躍いただき、心より感謝を申し上げます。

スポーツ活動は、技術を磨くだけでなく、仲間とともに切磋琢磨しながら人間性を高める場であり、コミュニケーションが希薄になりがちな現代社会においては大きな役割を果たしています。また、少子高齢社会となり、市民皆様の心身の健康のためにも今後ますます必要とされる場でもあります。貴協会は、50年もの長い間、様々な困難を乗り越えて継続して活動し、本市のスポーツ振興に実績を残してこられました。この背景には、多くの関係者の方々のご尽力とご努力があったものと心から深甚なる敬意を表する次第です。近年は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、大会の中止など、思うように活動ができない場面もあるかと思いますが、どうかより一層のご活躍を願っております。

蓮田市には、JR宇都宮線が乗り入れており、上野東京ライン、湘南新宿ラインで東京駅、新宿駅などのターミナル駅へ乗り換え不要で行くことができます。加えて、令和4年4月24日には、東北自動車道蓮田スマートインターチェンジ（上り線）が開通し、都心へのアクセスがさらに便利になりました。一方で、市内には緑や水辺が多く、豊かな自然が残っています。春には満開の桜で彩られる元荒川、年間を通じてバードウォッチングが楽しめる黒浜沼や山ノ神沼、ウォーキングやサイクリングに最適な見沼代用水ヘルシーロードなどがあり、四季折々の風景を楽しむことができます。これらの恵まれた立地条件を生かし、市民の皆様が「蓮田市に住んでよかった」と思えるような次の世代が誇れる街を目指し、人と自然を思いやる 蓮田共生の街づくりを進めてまいります。

そして、蓮田市は令和4年10月1日に市制施行50周年を迎えました。同じ年に創立50周年を迎える貴協会の皆様も、この節目を契機に結束をさらに高められ、本市のスポーツ振興に一層のご尽力、ご支援をお願いしたいと存じます。

結びに、蓮田市スポーツ協会のますますのご発展を心からご祈念申し上げまして、記念誌刊行に寄せるお祝いの言葉といたします。



蓮田市スポーツ協会創立50周年を祝して

蓮田市議会議長 齋藤 昌司

このたびは、蓮田市スポーツ協会創立50周年を迎えられ、まことにおめでとうございます。ひと言に50年と申しましても継続することの難しさは、計り知れぬご苦労があったことと推察いたします。スポーツ協会役員の皆様や加盟団体の役員の方々のご尽力の賜物で在ります。蓮田市のスポーツ団体をまとめ統括していくことは、蓮田市の発展や明るい街づくりに多大なる貢献をしています。そのことに対し、敬意と感謝を申し上げる次第です。加盟団体の皆様におかれましては、各種競技大会の開催をはじめ、競技の普及、技術の向上などに取り組んでいただいております。また、蓮田市が行っている各種事業にも積極的にご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、スポーツを取り巻く環境は、大変難しい状況を迎えております。コロナウイルス感染症により活動が制限されたり、少子高齢化の影響によるスポーツ人口の減少、スポーツの多様性が求められ環境下に於いて、維持することの難しさや重要性を認識しているところです。施設面に於いても近隣市町と比較して優越性があるわけではありません。皆さんが活動しやすい環境づくりを共にしていかななくてはならないと痛感しております。

蓮田市議会といたしましても、蓮田市スポーツ協会が発展するよう支援してまいります。スポーツを通して、市民の健康維持増進やコミュニケーションの場としてより一層の活躍を期待しております。「埼玉一安全で安心な街」「教育をするなら蓮田市へ」「スポーツをするなら蓮田市へ」の精神のもと共に歩んでいきたいと思っております。

蓮田市スポーツ協会会員の皆様のご健勝とさらなる益々のご活躍をされますよう、ご祈念申し上げます、お祝いの寄稿とさせていただきます。



スポーツ協会創立50周年を祝して

蓮田市教育委員会

教育長 西山 通夫

蓮田市スポーツ協会創立50周年を迎えられましたこと、心からお祝い申し上げます。そして、スポーツ協会の今日の繁栄と伝統を築いてこられた庄山会長をはじめとする歴代の会長職の皆様並びに関係者の皆様に心より敬意と感謝の意を表す次第でございます。

蓮田市スポーツ協会は昭和47年に設立され、当初の加盟団体は7団体、加盟人数は約1200名であったと伺っております。しかし、現在では大きく発展を遂げられ17団体、約2700名の組織となりました。これは種目別に構成されたアマチュアのスポーツ団体を統括し、スポーツの活性化を促進してきたスポーツ協会の目的が達成されているところであり、会員お一人お一人の大変な努力があつての成果であると確信しております。

さて、新型コロナウイルス感染拡大の中、2020東京オリンピック・パラリンピックが開催され、新しいジャンルのスポーツでも多くの日本人選手が活躍いたしました。このことは市民のスポーツ活動へ大きな影響を与え、スケートボードやボルダリングなどのスポーツ人口が急速に増えているようでございます。また、今後、中学校での部活動が地域に移行されるなどスポーツを取り巻く環境は大きく変化してまいります。

これらの社会情勢に対応することや市民スポーツの普及・発展にはスポーツ協会の役員、関係者の皆様の役割が更に重要となります。50年という歴史と伝統に支えられた意欲と指導力を基に今後ますますのご活躍を願うとともに、教育委員会といたしましても、蓮田市スポーツ協会の一助となりますよう努めてまいります。

結びといたしまして、蓮田市スポーツ協会のより一層のご発展と関係する皆様方のご健勝、ご多幸を心よりお祈り申し上げましてごあいさついたします。

蓮田市スポーツ協会 あゆみ

西暦	年	月日	蓮田市スポーツ協会	会長	副会長	蓮田市スポーツ賞・功労賞
1972	昭和 47	10.01	野球、バレーボール、卓球、軟式庭球、 剣道、空手、サッカーの7団体で蓮田市 体育協会を発足	初代会長 柴崎寅之助		
1973	48	4	黒浜運動公園野球場・サッカー場・テニ スコート開設			
1974	49	5	蓮田柔道会加盟			
1975	50					
1976	51					
1977	52	10		第2代会長 竹内栄一		
1978	53	3 4	ソフトボール協会加盟 硬式テニス連盟加盟		島村 昇 小引良輔	
1979	54	1 4 8	第1回元旦マラソン開催 バドミントン連盟加盟 第1回体協祭			
1980	55	1 6.12 9 10	第2回元旦マラソン 蓮田市スポーツ少年団設立 第2回市民スポーツ大会 高虫運動場開設		島村 昇 真弓 隆	
1981	56	1 9	第3回元旦マラソン 第3回市民スポーツ大会			
1982	57	1 7 9 10	第4回元旦マラソン 中道公園運動場開設 第4回市民スポーツ大会 中閤戸運動場開設		真弓 隆 藤生 清	
1983	58	1.01 9.04	第5回元旦マラソン 第5回市民スポーツ大会			中島利男 (ソフトボール協会) 野口訓一 (ソフトボール協会) 浜田政男 (バレーボール連盟) 隈元忠義 (バレーボール連盟) 小名良江 (バレーボール連盟) 三輪 衛 (空手道連盟)
1984	59	1.01 5.17 9.09	第6回元旦マラソン 蓮田市スキー連盟加盟 第6回市民スポーツ大会			横田種雄 (剣道連盟) 真弓 隆 (卓球連盟)
1985	60	1.01 7.15 9.08	第7回元旦マラソン 市体協広報誌「スポーツ蓮田」創刊 第7回市民スポーツ大会			
1986	61	1.01 9.07	第8回元旦マラソン 第8回市民スポーツ大会			鳴海育博 (ソフトボール協会) 小山 實 (空手道連盟) 斎藤幸雄 (蓮田市役所)
1987	62	4.05 5.10 9.06	蓮田市中学校体育連盟加盟 第1回見沼桜マラソン大会 (共催) 第9回市民スポーツ大会	第3代会長 藤生 清	真弓 隆 小野寺隆	村岡悦夫 (中学校体育連盟) 神田 明 (蓮田市役所) 野口哲央 (蓮田市役所)
1988	63	4.03 9.04	第2回見沼桜マラソン大会 (共催) 第10回市民スポーツ大会			秋庭敏雄 (蓮田市役所)
1989	64 平成元	4.09 9.03	第3回見沼桜マラソン大会 (共催) 10周年記念市民スポーツ大会 第1部開会式 第2部ミニ運動会			

西暦	年	月日	蓮田市スポーツ協会	会長	副会長	蓮田市スポーツ賞・功労賞
1990	2	4.08 8.25 9.02	第4回見沼桜マラソン大会 第1回はずだ市民まつり協力 第12回市民スポーツ大会			三角正和（テニス協会）
1991	3	4.14 5.19 8.24 9.08	第5回見沼桜マラソン大会（共催） 蓮田市太極拳協会加盟 第2回はずだ市民まつり協力 第13回市民スポーツ大会開会式			
1992	4	4.12 8.22 9.06 9.12 10.10	第6回見沼桜マラソン大会（共催） 第3回はずだ市民まつり協力 市制施行・体育協会設立20周年記念 第14回市民スポーツ大会開会式 市制施行20周年記念24時間マラソン大会協力 市制施行20周年記念蓮田市民体育祭協力			
1993	5	3.13 4.04 8.28/29 9.05 10.10	市制施行20周年記念スポーツ教室協力 第7回見沼桜マラソン大会（共催） 第4回はずだ市民まつり協力 第15回市民スポーツ大会開会式 蓮田市民体育祭協力			
1994	6	4.10 5.29 7.30 8.27/28 9.04 10.10 11.20	第8回見沼桜マラソン大会協力（共催） 居合道蓮田連合会加盟 蓮田市レクリエーション協会設立 第5回はずだ市民まつり協力 第16回市民スポーツ大会開会式 蓮田市民体育祭協力 蓮田市総合市民体育館開館		小野寺隆 鳴海育博	
1995	7	3.05 8.10 8.26/27 7.30 10.10	第1回ふれあいランド「蓮田市障がい者（児）スポーツ大会」協力 市体協広報誌「スポーツ蓮田」を第11号より「スポーツはずだ」に名称変更 第6回はずだ市民まつり協力 第17回市民スポーツ大会開会式 蓮田市民体育祭協力			吉田 健（剣道連盟） 半村茂夫 （中学校体育連盟/ハンドボール）
1996	8	2.25 3.24 5.19 7.28 8.24/25 10.10	第1回はずだシティマラソン大会（共催） 第2回ふれあいランド「蓮田市障がい者（児）スポーツ大会」協力 蓮田合気会加盟 第18回市民スポーツ大会開会式 第7回はずだ市民まつり協力 蓮田市民体育祭協力			
1997	9	2.23 3.30 7.27 8.23/24 10.10	第2回はずだシティマラソン大会（共催） 第3回ふれあいランド「蓮田市障がい者（児）スポーツ大会」協力 第19回市民スポーツ大会開会式 第8回はずだ市民まつり協力 蓮田市民体育祭協力			
1998	10	2.22 3.29 6.07 7.26 8.22/23 10.10	第3回はずだシティマラソン大会（共催） 第4回ふれあいランド「蓮田市障がい者（児）スポーツ大会」協力 蓮田市山岳連盟（蓮田山の会）加盟 第20回市民スポーツ大会開会式 第9回はずだ市民まつり協力 蓮田市民体育祭協力			
1999	11	2.28 3.28 7.25 8.28/29 8.28/29 10.10	第4回はずだシティマラソン大会（共催） 第5回ふれあいランド「蓮田市障がい者（児）スポーツ大会」協力 第21回市民スポーツ大会開会式 第54回国民体育大会関東ブロック大会フェンシング競技協賛・協力 第10回はずだ市民まつり協力 蓮田市民体育祭協力			赤坂元一（居合道蓮田連合会） 優秀監督賞 中島政司（柔道）

西暦	年	月日	蓮田市スポーツ協会	会長	副会長	蓮田市スポーツ賞・功労賞
2000	12	2.27 3.26 6.04 7.30 8.26 10.09	第5回はすだシティマラソン大会(共催) 第6回ふれあいランド「蓮田市障がい者(児)スポーツ大会」協力 居合道蓮田連合会退会 第22回市民スポーツ大会開会式 第11回はすだ市民まつり 蓮田市民体育祭協力			菊池孝司(柔道会)
2001	13	2.25 3.25 8.05 8.25 10.07	第6回はすだシティマラソン大会(共催) 第7回ふれあいランド「蓮田市障がい者(児)スポーツ大会」協力 第23回市民スポーツ大会開会式 第12回はすだ市民まつり協力 蓮田市民体育祭協力			
2002	14	2.24 3.24 7.28 8.24 10.13	第7回はすだシティマラソン大会(共催) 第8回ふれあいランド「蓮田市障がい者(児)スポーツ大会」協力 第24回市民スポーツ大会開会式 第13回はすだ市民まつり協力 蓮田市民体育祭協力		鳴海育博 折井富雄	優秀監督賞 鈴木健治(ソフトボール)
2003	15	2.23 3.23 7.27 8.23 10.12 12.12 ~15	第8回はすだシティマラソン大会(共催) 第9回ふれあいランド「蓮田市障がい者(児)スポーツ大会」協力 第25回市民スポーツ大会開会式 第14回はすだ市民まつり協力 蓮田市民体育祭協力 第56回全日本フェンシング選手権大会(リハーサル大会)			優秀監督賞 滝北慶文(野球)
2004	16	2.29 3.28 8.21 10.10 10.22 ~28	第9回はすだシティマラソン大会(共催) 第10回ふれあいランド「蓮田市障がい者(児)スポーツ大会」協力 第15回はすだ市民まつり協力 蓮田市民体育祭協力 第59回国民体育大会「彩の国まごころ国体フェンシング競技会」協力			真弓 隆(スキー連盟) 優秀監督賞 白田澄男(ソフトテニス)
2005	17	2.27 3.27 5.21 7.31 8.27 10.09	第10回はすだシティマラソン大会(共催) 第11回ふれあいランド「蓮田市障がい者(児)スポーツ大会」協力 蓮田市山岳連盟退会 第27回市民スポーツ大会開会式 第16回はすだ市民まつり協力 蓮田市民体育祭協力			
2006	18	2.26 3.26 5.13 7.30 8.26 10.09 10.15	第11回はすだシティマラソン大会(共催) 第12回ふれあいランド「蓮田市障がい者(児)スポーツ大会」協力 蓮田市陸上競技協会加盟 第28回市民スポーツ大会開会式 第17回はすだ市民まつり協力 文部科学大臣表彰「生涯スポーツ優良団体」受賞 蓮田市民体育祭協力	第4代会長 鳴海育博	折井富雄 小山節子 庄山勝義	飯塚 修(中学校体育連盟)
2007	19	2.25 3.25 7.08 8.18 10.14	第12回はすだシティマラソン大会(共催) 第13回ふれあいランド「蓮田市障がい者(児)スポーツ大会」協力 第29回市民スポーツ大会総合開会式 第18回はすだ市民まつり協力 蓮田市民体育祭協力			宇部浩一(軟式野球連盟)
2008	20	3.23 6.07 6.07 7.13 8.23 10.19	第14回ふれあいランド「蓮田市障がい者(児)スポーツ大会」協力 蓮田市少林寺拳法連盟加盟 蓮田市ゴルフ連盟加盟 第30回市民スポーツ大会総合開会式 第19回はすだ市民まつり協力 蓮田市民体育祭協力			齊藤邦子(バレーボール連盟)

西暦	年	月日	蓮田市スポーツ協会	会長	副会長	蓮田市スポーツ賞・功労賞
2009	21	1.25 3.22 5.16 6.06 7.05 8.22 10.18	第1回健康スポーツフェスティバル協力 第15回ふれあいランド「蓮田市障がい者(児)スポーツ大会」協力 第1回ふるさと水辺ウォーク協力 蓮田市ダンススポーツ連盟加盟 第31回市民スポーツ大会総合開会式 第20回はずだ市民まつり協力 蓮田市民体育祭協力			古川 清 (ソフトテニス連盟) 折井富雄 (バドミントン連盟) 平松秀雄 (ソフトボール協会)
2010	22	1.24 2.28 4.25 7.04 8.21 10.17	第2回健康スポーツフェスティバル協力 第16回ふれあいランド「蓮田市障がい者(児)スポーツ大会」協力 第2回ふるさと水辺ウォーク協力 第32回市民スポーツ大会総合開会式 第21回はずだ市民まつり協力 蓮田市民体育祭協力			
2011	23	1.23 3.13 5.15 7.03 8.20 10.16	第3回健康スポーツフェスティバル協力 第17回ふれあいランド「蓮田市障がい者(児)スポーツ大会」協力 第3回ふるさと水辺ウォーク協力 第33回市民スポーツ大会総合開会式 第22回はずだ市民まつり協力 蓮田市民体育祭協力			志村立美 (テニス協会) 木村 久 (バレーボール連盟) 染谷 洋 (空手道連盟)
2012	24	1.22 2.26 5.13 6.17 6.17 7.01 8.25 10.20 11.03	第4回健康スポーツフェスティバル協力 第18回ふれあいランド「蓮田市障がい者(児)スポーツ大会」協力 第4回ふるさと水辺ウォーク協力 蓮田市ゴルフ連盟退会 蓮田市バスケットボール連盟加盟 第34回市民スポーツ大会総合開会式 第23回はずだ市民まつり協力 蓮田市民体育祭協力 第1回蓮田マラソン協力		小山節子 庄山勝義 齋藤昌司	
2013	25	1.27 3.10 5.12 7.07 8.24 10.19 11.16	第5回健康スポーツフェスティバル協力 第19回ふれあいランド「蓮田市障がい者(児)スポーツ大会」協力 第5回ふるさと水辺ウォーク協力 第35回市民スポーツ大会総合開会式 第24回はずだ市民まつり協力 蓮田市民体育祭協力 第2回蓮田マラソン協力			
2014	26	2.02 3.09 5.11 7.06 8.23 10.18 11.29	第6回健康スポーツフェスティバル協力 第20回ふれあいランド「蓮田市障がい者(児)スポーツ大会」協力 第6回ふるさと水辺ウォーク協力 第36回市民スポーツ大会総合開会式 第25回はずだ市民まつり協力 蓮田市民体育祭協力 第3回蓮田マラソン協力			池田良夫 (ソフトボール協会)
2015	27	3.08 5.10 6.20 7.05 8.22 10.17 11.28	第21回ふれあいランド「蓮田市障がい者(児)スポーツ大会」協力 第7回ふるさと水辺ウォーク協力 蓮田市少林寺拳法連盟退会 第37回市民スポーツ大会総合開会式 第26回はずだ市民まつり協力 蓮田市民体育祭協力 第4回蓮田マラソン協力			
2016	28	3.06 5.08 7.03 8.20 10.16 11.26	第22回ふれあいランド「蓮田市障がい者(児)スポーツ大会」協力 第8回ふるさと水辺ウォーク協力 第38回市民スポーツ大会総合開会式 第27回はずだ市民まつり協力 蓮田市民体育祭協力 第5回蓮田マラソン協力			

西暦	年	月日	蓮田市スポーツ協会	会長	副会長	蓮田市スポーツ賞・功労賞
2017	29	3.05 5.07 7.02 8.19 11.25	第23回ふれあいランド「蓮田市障がい者(児)スポーツ大会」協力 第9回ふるさと水辺ウォーク協力 第39回市民スポーツ大会総合開会式 第28回はずだ市民まつり協力 第6回蓮田マラソン協力 花いっぱい運動協力	第5代会長 庄山勝義	小山節子 齋藤昌司 平松秀雄	大和久美代子(太極拳協会)
2018	30	3.04 5.13 6.02 7.01 8.18 10.21 11.24	第24回ふれあいランド「蓮田市障がい者(児)スポーツ大会」協力 第10回ふるさと水辺ウォーク協力 蓮田市ダンススポーツ連盟退会 第40回市民スポーツ大会総合開会式 第29回はずだ市民まつり協力 蓮田市民体育祭協力 第7回蓮田マラソン協力 花いっぱい運動協力			
2019	31 令和元	3.03 5.12 7.07 8.24 10.20 11.30	第25回ふれあいランド「蓮田市障がい者(児)スポーツ大会」協力 第11回ふるさと水辺ウォーク協力 第41回市民スポーツ大会総合開会式 第30回はずだ市民まつり協力 第1回はずだスポーツフェスタ協力 第8回蓮田マラソン協力 花いっぱい運動協力			
2020	2		花いっぱい運動協力 新型コロナウイルス感染拡大防止のため 諸事業中止		齋藤昌司 平松秀雄	小山節子(卓球連盟) 高松正勝(蓮田合気会) 齋藤 宰(陸上競技協会) 矢島悦夫(スキー連盟)
2021	3	4.01	蓮田市体育協会から蓮田市スポーツ協会に名称変更 花いっぱい運動協力 新型コロナウイルス感染拡大防止のため 諸事業中止			
2022	4		花いっぱい運動協力 新型コロナウイルス感染拡大防止のため 諸事業中止		齋藤昌司 平松秀雄 山口恒雄	

参考資料

- 1、蓮田市体育協会発刊「10年のあゆみ」
- 2、総会資料(昭和50年度～令和4年度まで)
- 3、スポーツはずだ(創刊号から36・37号合併号まで)
- 4、広報はずだ
- 5、関係各課
- 6、名称統一
 - ①はずだ市民まつり
 - ②ふれあいランド「蓮田市障がい者(児)スポーツ大会」
 - ③ふるさと水辺ウォークのみ記載
 - ④市民スポーツ大会
 - 平成3年第13回市民スポーツ大会以降開会式とする
 - 平成19年第29回市民スポーツ大会以降総合開会式とする



野球連盟



宇部 元会長 (平成10年～19年)



草野 元会長 (平成20年～23年)



森 前会長 (平成24年～令和3年)

令和4年度 蓮田市野球連盟役員



(後列)	鬼形審判員	辻本副審判部長	吉川副審判部長	岡安審判員
(前列)	伊藤副理事長	荒井会長	松永理事長	中澤審判部長 (代行)



会長 荒井 健二

会長挨拶

近年野球を楽しむ人が激減しています。

小学生野球、中学生野球、高校生野球、そして社会人野球、どこを見てもチームがどんどん減っています。

それぞれの連盟に携わっている人は連盟存続の危機に頭を痛めていることでしょう。

我が蓮田市野球連盟も例外ではありません。

従来企業チームが主体でしたが、現在はクラブチームが主流です。

全盛期のチーム数から半減し現在30チームをなん

とか維持しています。

連盟の努力もありますが、参加している各チームの協力があってこそその連盟運営です。

全国大会優勝を目指すチームから、蓮田リーグ優勝を目指す、仲間と楽しい野球をしたいチーム等いろいろです。

目標は違ってみんな野球が大好きな仲間たちです。また、少年野球連盟、中体連、高野連、そして我が連盟、蓮田市の野球仲間が一同に会した蓮田市野球競技会の合同開会式の開催。このような組織横断の開会式は蓮田市だけです。誇りに思います。

各連盟の皆さんの協力があってこそこの催しです。

今後も試行錯誤しながら野球人口を増やす努力を進めて行きたいと思います。

連盟沿革

昭和26年頃に中学校の野球部のOBが中心に選抜チームを結成し近隣の市町村の対外試合が始まりといわれています。

昭和32年頃には15～16チームになり、蓮田町野球連盟として活動が始まり、埼玉県東部支部の南埼玉野球連盟に加入。

昭和47年蓮田市政施行に伴い、蓮田市野球連盟と改称されました。

平成18年にはそれまでのトーナメント大会からリ

ーグ戦方式が導入され現在に至っています。

平成28年には南埼玉野球連盟連合会（蓮田、白岡、宮代）から念願の蓮田市野球連盟として独立を果たしました。

県大会にも蓮田市代表として出場可能となり、著しい活躍が目を見せました。

翌年29年には、初の県大会優勝を果たし、関東予選を突破し、ついに全国大会出場を成し遂げ全国ベスト4を実現しました。

令和4年またしても県大会優勝を成し遂げ、関東予選も突破、2度目の全国大会出場を決めました。

(お詫び：過去の履歴が残っておらず、間違いや抜け等があるかもしれません。ご容赦願います)

任期	連盟会長	連盟理事長	主な出来事(トピックス)
～平成3年	島村 昇(他)	—	諸先輩の努力で現在の連盟の基礎が築かれた
平成4年～	小池 勇三	草野 哲夫	黒浜球場に夜間照明設置
平成10年～	宇部 浩一	草野 哲夫 荒井 健二	市内大会リーグ戦方式の導入
平成20年～	草野 哲夫	荒井 健二	蓮田市野球競技会合同開会式の開催 蓮田市野球選手権大会の開催
平成24年～	森 伊久磨	荒井 健二 山口 昌宏 松永 幸一	蓮田市野球連盟として支部独立 支援企業から優勝旗の寄贈 連盟初の県大会優勝、全国大会出場でベスト4 (ニューガッツ)
令和4年～	荒井 健二	松永 幸一	ニューガッツ2度目の県大会優勝、9月の全国大会出場へ



蓮田市野球競技会 合同開会式 (平成21年～)

トピックス1

市内大会リーグ戦方式の導入 (平成18年～)

連盟発足以来、春秋のトーナメント大会を実施してきた。参加チームの減少や一回戦敗退チームからの不満（1試合で大会終わり）を受け全チームが同じ試合数戦えるリーグ戦方式の導入しました。

平成18年度の参加は24チーム、6チームずつの4部リーグで実施した。

各リーグは6チームの総当たりで年間5試合（年間リーグ戦）を行います。

各リーグ共に戦力が拮抗し、接戦の試合が多く24チームからも好評でした。



SHIRASAGI (平成26年)

歴代優勝チーム

年 度	1部リーグ	2部リーグ	3部リーグ	4部リーグ	5部リーグ
平成18年度	ニューガッツ	ジャイガーズ	一撃	ロックスターズ	
平成19年度	ニューガッツ	アクセル	ロックスターズ	オリーブ BK	
平成20年度	ニューガッツ	ロックスターズ	ウイリアムズ	みずほクラブ	
平成21年度	アクセル	蓮田レンジャーズ	ロドリゲス	一匹狼	
平成22年度	国土無双	セイコーアドバンス	一匹狼	B-BOYS	SHIRASAGI
平成23年度	アクセル	一匹狼	ラッキーズ	SHIRASAGI	ブラック ダイヤモンズ
平成24年度	アクセル	蓮田レンジャーズ	SHIRASAGI	蓮田サンクス	虎鉄
平成25年度	ニューガッツ	SHIRASAGI	蓮田サンクス	ブラック ダイヤモンズ	蓮田マスターズ
平成26年度	SHIRASAGI	蓮田サンクス	ウイリアムズ	蓮田インパルス	蓮田マスターズ
平成27年度	SHIRASAGI	一撃	B-BOYS	みずほクラブ	蓮田レジェンド
平成28年度	ニューガッツ	蓮田サンクス	ラッキーズ	蓮田レジェンド	蓮田マスターズ
平成29年度	ニューガッツ	ロキシー	ドランカーズ	ブラック ダイヤモンズ	
平成30年度	ニューガッツ	ロックスターズ	蓮田レジェンド	蓮田市役所	黒浜クラブ
令和元年度	ニューガッツ	ドランカーズ	ブラック ダイヤモンズ	黒浜クラブ	サンデーズ
令和2年度	ニューガッツ	蓮田レジェンド	イーストエンド	サンデーズ	団子団
令和3年度	ニューガッツ	ブラック ダイヤモンズ	黒浜クラブ	みずほクラブ	ネオチェリー

トピックス2

蓮田市野球選手権大会開催 (平成21年～)

4部リーグ戦（現在5部）も定着しチームからも好評をいただいています。

リーグの優勝チームでトーナメントを行い、『蓮田チャンピオン』を決めようという声があり、全チームの賛同を得ました。

年度最後の締めくくりとして、蓮田選手権大会を開催することになりました。



第一回 (平成21年度) 優勝 ロックスターズ

歴代優勝・準優勝チーム紹介

	年度	優勝チーム	準優勝チーム		年度	優勝チーム	準優勝チーム
第1回	平成21年度	ロックスターズ	ニューガッツ	第8回	平成28年度	ニューガッツ	SHIRASAGI
第2回	平成22年度	アクセル	SHIRASAGI	第9回	平成29年度	ニューガッツ	SHIRASAGI
第3回	平成23年度	SHIRASAGI	アクセル	第10回	平成30年度	ニューガッツ	SHIRASAGI
第4回	平成24年度	SHIRASAGI	アクセル	第11回	令和元年度	大会中止(コロナ感染対策)	
第5回	平成25年度	SHIRASAGI	ニューガッツ	第12回	令和2年度	大会中止(コロナ感染対策)	
第6回	平成26年度	SHIRASAGI	アクセル	第13回	令和3年度	ニューガッツ	ブラック ダイヤモンズ
第7回	平成27年度	SHIRASAGI	ニューガッツ				

トピックス3

蓮田市野球競技会 合同開会式の開催 (平成21年～)

平成20年に新たな企画として、少年野球連盟と我が野球連盟との合同開会式を試みました。

この企画は多くの人の賛同を得て次回は中学や高校にも声をかけ蓮田市全体の開会式にする事になりました。

平成21年4月5日、蓮田市の野球仲間が集う『蓮田市野球競技会合同開会式』が開催されました。

すごいことです。蓮田市市長はじめ多くの来賓、父兄の皆さんが見守る中、黒浜中学校吹奏楽部の演奏のもと、選手総勢500人の入場行進を披露しました。



おじいちゃん、お父さん、お兄ちゃん、そして僕、みんなの行進です。

少年野球連盟8チーム、中学校5チーム、高校1チーム、そして我が野球連盟27チームの選手達です。

主催者は「世代を超えた親睦と、蓮田市の活性化に繋がれば最高です」と話していました。

選手の皆さん、今年もチーム一丸、それぞれの目標に向かって頑張りましょう。

蓮田市野球連盟は、皆さんの活躍を応援しています。



トピックス4

支援企業から『優勝旗』の寄贈 (平成27年)

連盟役員、選手一同大変感謝しております。優勝旗目指してチーム一丸頑張っていきます。

- 蓮田選手権 ASA蓮田中央杯優勝旗
- 1部リーグ (株)岩崎食品工業杯優勝旗
- 2部リーグ (株)日信土地杯優勝旗
- 3部リーグ (株)魚庄杯優勝旗
- 4部リーグ 蓮田ロータリークラブ杯優勝旗
- 5部リーグ 公益社団法人春日部法人会蓮田支部杯優勝旗



トピックス5

蓮田市野球連盟として支部独立宣言 (平成28年)

長年南埼玉野球連盟連合会(蓮田市、白岡市、宮代町)の1支部として活動を続けてきました。

本来は市制施行により蓮田市野球連盟として単独で埼玉県野球連盟に登録できたのですが、資金(チーム数)面、連盟人材(審判員含む)面、そして施設(球場)面が3大課題でした。

チーム数は30越えてクリア、審判員も徐々に育ち上部大会にも派遣してクリア、球場施設だけが課題

として残っています。

世代も変わり、若い人たちからの独立したいという声に後押しされ、南埼玉連合会の賛同も得て、平成28年に待望の単独支部として独立を果たしました。

これからは、東部大会、県大会には『蓮田市代表』として出場します。

『ニューガッツ』 埼玉県大会で悲願の優勝!! (平成29年)

埼玉県代表として関東予選を勝ち抜き、全国大会ベスト4を達成

平成29年5月14日開幕した「高松宮賜杯全日本軟式野球大会埼玉県大会（2部）」において、ニューガッツは蓮田市代表として出場、東部予選会からの

好調を維持し『ミラクル野球』を展開、初の県大会優勝を成し遂げました。

ミラクル野球とは

(第1のミラクル)

1回戦 東松山代表 DOROPS戦
11対10で逆転勝利
4点差ビハインドで迎えた9回に逆転勝利

(第2のミラクル)

2回戦 北本代表 レッドスキズ戦
17対16で逆転勝利
2回で10点ビハインド、点の取り合いゲーム
毎回点を重ねて8回ついに追いつき、
9回サヨナラで勝利
選手達は負ける気はしなかったそうです。

(第3のミラクル)

準決勝 深谷代表 深谷クラブ戦
10対9で逆転勝利
9回に追いつき、タイブレーク2回目、
相手に3点取られたが
その裏、逆転満塁ホームランで勝利

決勝 南埼玉代表 宮代ファイターズ戦
7対4で逆転勝利
奇しくも、元南埼玉支部同士の対戦となった
先制されるも、じっと我慢しチャンスを待ち
ついに逆転
若さあふれる試合展開で悲願の優勝を飾った

(第4のミラクル)

関東大会 7月1日(土)
神奈川県綾瀬市スポーツ公園第一野球場
栃木県代表に勝ち全国出場を決める
1点先取するも8回に追いつかれ延長戦、
12回2連続ホームランで勝利。



平成29年「高松宮賜杯全国大会（2部）」
ニューガッツ出場メンバー

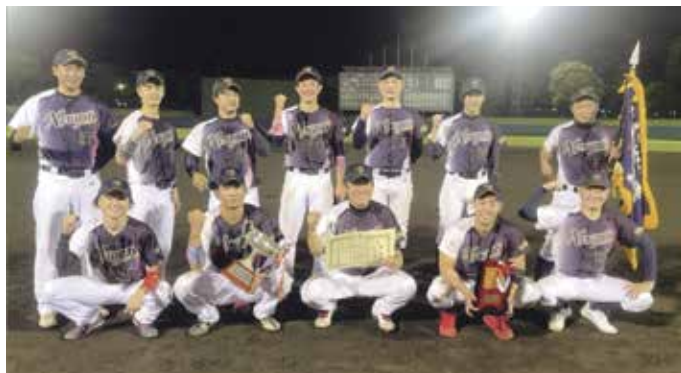
全国大会 9月29日～
静岡県浜松市四ツ池公園浜松球場ほか
埼玉県代表として
全国大会ベスト4を達成

『ニューガッツ』 埼玉県大会で2度目の優勝 (令和4年)

令和4年度の「高松宮賜杯全日本軟式野球大会埼玉県大会（2部）」の決勝戦は朝霞球場で午後5時からのナイター試合となった。相手チームはまたしても南埼玉野球連盟連合会のクライマックス（白岡市）との対戦となった。

ニューガッツの戦いは初優勝の時と違い、自信に満ちていて落ち着いた試合運びで応援団も安心して観戦できました。

先日茨城県での関東予選会もコールドゲームで突破、9月の全国大会（宮城県）も期待しています。



令和4年「高松宮賜杯大会埼玉県大会（2部）」
ニューガッツ優勝メンバー

連盟役員

令和4年度、5年度（任期2年）

役職	氏名	担当	所属／審判歴	東部役員	埼玉県役員
会長	荒井 健二	スポ協常任理事	1級審判員	評議委員	評議委員
副会長兼理事長	松永 幸一	連盟統括	1級審判員	理事／副審判部長	
副会長	加藤 始	渉外担当			
副理事長	伊藤 功	市内大会運営	2級審判員		
//	吉川 哲雄	市内大会運営			
事務局長兼会計	中澤 幹生	収支事務管理		評議委員	

審判部

審判部長（代行）	氏名	担当	所属／審判歴	審判運営委員	審判運営委員
副審判部長	辻本 隆	部長補佐	2級審判員		
//	吉川 哲雄	部長補佐	2級審判員		
理事	金子 清明		2級審判員		
//	鬼形 和寛		3級審判員		
//	大橋 知二		2級審判員		
//	岡安 勇樹		1級審判員		
//	北條 拓也		蓮田F		
//	荒川 久臣		蓮田F		
//	染谷 慶太		SHIRASAGI		
//	佐藤 将嘉		サンデーズ		

顧問

最高顧問	森 伊久磨	前連盟会長	2級審判員
顧問	山口 昌宏	元連盟副会長	1級審判員
顧問	水元 量二	元連盟副会長	2級審判員



令和4年度加盟チーム

リーグ	チーム名	代表者
1部	ニューガッツ	山口 智之
	アクセル	蔵品 栄次
	蓮田サンクス	鈴木 祐哉
	SHIRASAGI	染谷 慶太
	DrunKers	高橋 秀光
	ブラックダイヤモンドズ	勝 大介

リーグ	チーム名	代表者
4部	蓮田市役所	毛塚 康平
	グレイス	成田 隼
	カンダキングス	足立 拓通
	NEO CHERRY	小坂 翔太
	蓮田マスターズ	伊藤 功
	SMOKING KILLS	月川 雄太

リーグ	チーム名	代表者
2部	セイコーアドバンス	鈴木 将行
	蓮田LEGEND	染谷 慶太
	ロキシー	工藤 朋宏
	ロックスターズ	黒須 耕太郎
	B-BOYS	近江 芳昭
	黒浜クラブ	菅澤 拓人

リーグ	チーム名	代表者
5部	蓮田インパルス	加藤 始
	団子団	若林 力
	CARS	岸本 和之
	蓮田F	北條 拓也
	吉祥福寿会	赤羽 宗信

リーグ	チーム名	代表者
3部	ウィリアムズ	小菅 克実
	イーストエンド	高梨 浩
	ラッキーズ	石塚 佳明
	一撃	手島 康典
	みずほクラブ	吉成 道三
	サンデーズ	佐藤 将嘉





バレーボール連盟

創立年月

昭和40年4月

加盟年月

昭和47年10月

歴代会長

小野寺 隆	昭和40年～昭和45年(会長代行)
松島 伸治	昭和46年～昭和47年
竹野谷 智	昭和48年～昭和54年
小野寺 隆	昭和55年～平成13年
齋藤 昌司	平成14年～平成23年
森田 利雄	平成24年～

活動内容

蓮田市スポーツ協会50周年、おめでとうございます。当連盟はスポーツ協会創設の一メンバーとして共に活動させて頂き、光栄に思いますとともに感謝しております。

当連盟は小学生6人制からシニア9人制までの多岐にわたる大会運営と地域社会活動に参画し、バレーボールを生涯スポーツとして頂くことを目標として活動しております。

主な主催大会はママさん大会(3回/年)、ことぶき・いそじ大会(2回/年)、健康づくり大会(2回/年)、中学生大会(1回/年)、小学生大会(3回/年)、ソフトバレーボール大会(2回/年)を運営管理しております。

今後も蓮田市スポーツ協会の一員としてスポーツの普及発展に寄与して参ります。

現行役員

役職	氏名	役職	氏名	役職	氏名
名誉会長	齋藤 昌司	副会長	石原 和己	審判部長	星野 雅子
会長	森田 利雄	理事長	渡辺 秀美	学生担当部長	岡田 政広
副会長	土屋 秀雄	副理事長	渡辺 弘美	ソフトバレー担当部長	長谷部 実



上段 副理事長 渡辺弘美 理事長 渡辺秀美
 下段 副会長 石原和己 会長 森田利雄 副会長 土屋秀雄

POPPY (シニア)

蓮田市スポーツ協会発足50周年おめでとうございます。

私たちはママさんバレーボールシニアの部として50歳以上のメンバーで構成されているPOPPYです。創部以来、市登録のみならず県登録もしてきましたが、今年度はコロナ禍で練習も滞ってしまい、メンバーの覇気も下がり人数も減少気味で登録まで至りませんでした。結成当時は関東大会や全国大会にも出場を果たし、周りからも一目置かれるチームでした。当時の花形プレイヤーたちも60代後半から70代となり、ことぶきPOPPYで活躍しています。

数々の記録が過去の栄光で終わらないように一念発起し、新生POPPYを目指します。登録できなかった事でメンバー全員の気持ちに変化が起きました。当たり前前の日常が当たり前ではないこと。改めて楽しくバレーボールができることへの感謝の気持ちに気づき、ギアが一つ上がりました。

最近ではコロナも少しずつ落ち着いてきて、40代から70代まで楽しく練習をしています。この幅広い年



代の融合がPOPPYの素晴らしいところです。それぞれの年代の良いところを活かしてコロナからの復活を目指します。

末筆ながら協会皆様のご尽力に心より感謝いたします。

桜クラブ (シニア)

蓮田市制及び、蓮田市スポーツ協会50周年おめでとうございます。

このような記念誌に桜クラブの紹介ができることを嬉しく思っております。

桜クラブは週一回、市内小学校の体育館をお借りしてバレーボールの練習をしています。

部員は12名、それぞれが個性豊かにのびのびしたチームです。

桜クラブの名前の由来はよくわかりませんが、桜の花言葉には「精神の美」というものがあり、まさにスポーツに通じるものがあると思いました。

練習を頑張ってはいますが、なかなか結果に結びつかない所が玉に瑕。



ですがこの機会にクラブのこを見つめ直すことができ、これからの活動に磨きをかけ仲間と共に楽しく長く続けていけたらと思っております。

今後の蓮田市スポーツ協会のますますのご発展をお祈り申し上げます。

DIVA (シニア)

52～65歳の12人で構成している、9人制バレーボールのいそじのチームではありますが、半数は60歳代のメンバーで毎週水曜日の夜に中央小で練習に励んでいます。発足当時は殆んどが50歳前後だったため10年以上たちましたが、これからも気力と体力を保ちつつ仲間を大切にして続けていきたいと思っています。



蓮田スポーツクラブ

蓮田市スポーツ協会50周年おめでとうございます。
蓮田スポーツクラブと申します。蓮田中央小学校の体育館をお借りして、毎週土曜日の午後3時30分からバレーボールの活動をしています。

チーム紹介をするにあたり、先輩に話を聞いたところ、正確な創部年はわからないけれど、50年前にはすでに活動をしていたと教えてもらいました。

現在は主に40代50代のメンバーが活動しています。皆、思いやりにあふれ、チームワークは抜群に良いと自信を持って言えるチームです。

コロナ禍になってからは、活動休止の期間が続き、このまま動けなくなってしまうのではないかと不安でした。活動が再開し、久しぶりに皆と顔を合わせた時は、うれしく、このチームはこんなに大切な場所だったんだと改めて思いました。まだ大会参加と



いうところまでは戻っていないのが現状です。それでも、50年以上前から続いてきたご縁を途切れさせることのないようこれからも活動していきたいと思っています。

このページが、蓮田スポーツクラブにご縁のあった方々の目にとまり、現在も繋がっていることをお知らせできますことに感謝の思いを込めましてチーム紹介といたします。

蓮田フワークラブ

蓮田フワークラブは、毎週木曜日の19時から平野小学校体育館で森田監督の指導を受け、メンバーが揃って練習を行っています。

1人1人のサーブには迫力があり、レシーブ力が強く、拾って繋いでバレーを心がけ、セッターのトス回しで、どこからでもスパイクが打てるアタッカーの迫力あるスパイクは、フワークラブの得点源になります。試合中のコミュニケーションを取り合い、次に繋がるプレーを活かせるチーム力と共にコンビバレーを爆裂させています。

笑顔や笑いが絶えない練習や試合です。小柄なチームであっても、気力・体力・忍耐はどこよりも強いチームです。

チーム結成からチームの約束事を守り続け、コロナにも負けずにファイト溢れる蓮田フワークラブです。



練習に参加したい方、バレー好きな方は、大歓迎ですので宜しくお願い致します。

団結力溢れる、迫力あるプレーと見応えあるプレーを皆様にお見せしたいです。

あすなろクラブ

あすなろクラブは、平成元年に結成。チームが出来てから33年になります。

残念ながら結成当初のメンバーはもう残っていません。現在部員は10名。

シニアメンバー多めのチームですが、気持ちはまだまだ若い人に負けていません。「生涯スポーツ」としてバレーボールが継続出来るよう健康維持に努めています。練習は黒浜南小学校の体育館にて毎週日曜日14時から16時半までです。

試合で実力を発揮できないまま負けてしまい悔しい思いもしたので、勝つ喜びを数多く味わえるよう、チームワークの強化、技術の向上を目指し練習に励んでいます。市内外の大会で結果を残すことが

目標です。

新型コロナウイルスの影響で練習が長期間出来なかった事は初めての経験でした。現在は少しずつ大会等も開催されるようになり、改めてバレーボールが出来る事に感謝と喜びを感じています。

部員数が少ないので、新メンバー募集しています。興味のある方、体を動かしたい方、一緒にバレーボールを楽しみましょう。チームで仲良く楽しく練習をしています。



ちゃいんど・べる

「ちゃいんど・べる」は子育て中のママ達のご縁あって集まったことから始まり、今年で21年目にあります。

当時、体育館を駆け回っていた子供達は大きくなり、時折、練習のお手伝いに来てくれます。

また、新たに若いメンバーも加わり、出産でお休み中から子育て卒業世代まで年齢層の幅も広がりました（チームの平均年齢は若い方です（笑））。

チーム最年長のコーチとともに、試合に勝つことを目標として楽しさの中にもメリハリのある練習に励んでいます！

暑い真夏の体育館も寒い冬の練習も、一人じゃ続かない…みんなと会って体を動かせるので続けてい

ける！…家庭や仕事のストレスを一時忘れ、夢中になれる時間を一緒に過ごしませんか？

暑気払いや忘年会などコート以外での親睦の時間もあります（コロナの影響で今は自粛中）。

バレー経験は問いません。どなたでも大歓迎です！

毎週木曜日、19時より黒浜小学校体育館で練習しています。ぜひ一度遊びに来てください。お待ちしております。



クローバー

蓮田市スポーツ協会50周年おめでとうございます。

心よりお祝い申し上げます。

私たちクローバーは、20代の若いママさん達が立ち上げた後を引き継ぎ、今年で20年目に入るバレーボールチームです。

引き継いだ当初はルールもよく知らず、ネットの張り方もわからず、本部の方々や他のチームの皆さんにご指導を頂きながら続けてこられました。

コロナで練習もままならずの日々が続きましたが、最近では新しいメンバーも入り、若い男性監督

のもと明るく元気に練習に励んでいます。

蓮田市スポーツ協会様のように、この先長くチームを続けていけるようにクローバー一同、頑張りたいと思います。

引き続き、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

今後の更なるご発展を祈念いたします。



蓮田北バレーボールクラブ

小学生を対象にしたバレーボールチームです。蓮田市内の子供たちが主に活動しています。

創立は1985年で、女子チームとして結成され2018年男子チームを立ち上げました。当初は、蓮田市バレーボール連盟が各小学校単位でバレーボール教室を開き、蓮田市のバレーボールを育成する目的でチーム作りがされました。

市内では、黒浜南小・平野小・中央小・蓮田北小の順で立ち上げ、その後、いくつかのチームが結成されました。多い時には、5チームが存在し市内大会も活発に行われ小学生バレーも活気がありました。

蓮田北バレーボールクラブは、蓮田北小学校を拠点とし週4回の練習を行っております。

毎年初めに、選手・保護者並びにコーチ陣と相談し年度目標を決めます。その目標に向かって練習に取り組んでいます。

「笑顔で元気よく友達を思いやる」をモットーに

チームワークを大切にしています。

今までの成績は、埼玉県大会男子優勝（2021年2022年）埼玉県大会女子3位（2016年）が最高成績となっています。

これからも地域の小学生バレーボールチームとして活躍していきたいと思っています。

スタッフ紹介

総監督 齋藤昌司
男子監督 レミスピニエル昌美
女子監督 藤巻直樹
コーチ陣 中田由美子／関 龍浩／上原雅也



卓球連盟



会長 岩崎 俊一

蓮田市卓球連盟 歴代会長

初代	昭和42年4月～44年3月	佐原 睦男
2代	昭和44年4月～49年3月	東野 光昌
3代	昭和49年4月～51年3月	瀬高 秀二
4代	昭和51年4月～	真弓 隆
5代	～平成2年3月	大峰 信夫
6代	平成2年4月～令和3年3月	小山 節子
7代	令和3年4月～	岩崎 俊一

蓮田市卓球連盟の沿革

蓮田市卓球連盟は昭和42年にセキスイ・市光工業が中心になり初代会長に佐原睦男氏（セキスイ）を迎えて発足しました。当時セキスイ化学クラブ、卓友会、黒浜クラブと数クラブありましたが、卓球人口の底辺拡大とクラブ結成にと、市教育委員会が意欲的に、初心者卓球教室を実施しました。試合経験のある選手の人たちが講師になり指導に当たりました。

次第に市内にも卓球愛好者が増え、なでしこクラブ、中央クラブ、コミュニティクラブ、寿クラブ、ライラッククラブ、レモンパイクラブ、弥生クラブ、

ラージボールクラブ、ジュニアクラブ、小山クラブ、クローバークラブなどのチームが誕生しました。

そして、連盟の活性化、選手の技術向上にと平成7年に元世界チャンピオン松崎キミ代選手、平成16年に元中国チャンピオンで世界選手権出場の羽佳選手、平成22年に中国選手で現在プロコーチの鄭（ティ）さん、翟銘（キンメイ）さんによる特別講習会を開催。高度なテクニックと頭脳的プレー技術を学びました。現在、老若男女が楽しみながら各々の目標を目指して練習に励んでいます。

卓球連盟の思い出

卓球連盟初期の頃の大会は、蓮田中央小学校・蓮田中学校・農業者トレーニングセンター・コミュニティセンターと大会会場を探すのがとても大変でした。しかし、平成6年に総合市民体育館が完成して、これまでの市民大会だけではなく、他県からも多くの選手が参加する、念願の蓮田はなみずきオープン卓球大会を開催することができました。

以来、はなみずきオープン卓球大会・市民卓球大会・自治会対抗戦・健康づくり卓球大会・ラージボ

ール大会・ジュニア強化練習会・合同強化練習会等、さまざまな大会を開催してきました。

初心者教室より育った卓球愛好者が、楽しそうに白球に飛びついて仲間と楽しい汗を流しております。健康維持で楽しみながら練習に励んでいる人、また、大会目指して努力している選手、今後も、一人でも多くの方が卓球に親しんでいただけたらと思います。

（顧問 小山節子）

令和4年度役員

顧問	小山 節子	理事	木村 民子
会長	岩崎 俊一	//	野村比呂子
副会長	竹野谷一幸	//	山口 勝利
//	中島 弘貴	//	山口富美子
//	杉山 恵	//	原田 守
		//	當間 保
		//	仲村 肇



大会以外の活動

平成6年	元世界チャンピオン 松崎キミ代選手の 講習会	平成14年	初心者卓球教室（親子）
平成7年	第1回はなみずき大会 県内外男女選手600名参加	平成15年	埼玉国体（フェンシング）役員手伝い
平成8年	連盟発足30周年記念講演会 （アジア大会出場 高橋昌子） 記念パーティ（コミュニティセンター） 歴代会長招待	平成16年	はなみずき大会10回記念講習会 元中国チャンピオン（羽佳プロ） 元全日本チャンピオン（川嶋プロ）
平成9年	合同バス旅行 バス2台 裏磐梯五色沼ハイキング 参加90名	平成22年	連盟発足45周年記念講習会 テイケイヒョウ・ザイミン（中国の一流 プレイヤー）
平成11年	合同バス旅行 塩原紅葉谷（卓友会・ ゆうゆうクラブ・なでしこクラブ・ 中央クラブ・コミュニティクラブ）	平成26年	県ベテランオープン卓球大会 （パルシー） 県ラージボール大会（パルシー）
平成13年	合同バス旅行 館山あじさい1万本	平成29年	全日本卓球大会県予選（パルシー） コミュニティー講演会（平野美宇選手の 母、講演会）手伝い協力

卓球大会優勝者

年月日	大会名	個人戦男子	個人戦女子	自治会対抗	中学生男子	中学生女子
昭和53年3月	第1回市民大会	今崎 悦男	小野 明美			
昭和54年4月	第2回市民大会	今崎 悦男	江田 和江			
昭和54年11月	第1回市体育大会	今野 和彦	小山 節子			
昭和55年3月	第3回市民大会	今崎 悦男	小山 節子			
昭和56年6月	第4回市民大会	内田 康夫	小山 節子			
昭和56年9月	市民スポーツ大会	諸田 要	神保 君枝			
昭和57年5月	第5回市民大会	今野 和彦	神保 君枝			
昭和57年9月	市民スポーツ大会	諸田 要	神保 君枝			
平成元年3月	市民卓球大会	中島 弘貴	鈴木百合子	第4回西新宿B		
平成元年9月	市民スポーツ大会	中島 弘貴	鈴木百合子	第5回貝塚団地		
平成2年	市民卓球大会	竹野谷一幸	飛田 英子	第6回西新宿		
平成3年	市民卓球大会	諸田 要	飛田 英子	第7回貝塚団地		
平成4年	市民卓球大会	竹野谷一幸	松井めぐみ	第8回貝塚団地		
平成4年9月	市民スポーツ大会	竹野谷一幸	松井めぐみ			
平成5年5月	市民卓球大会	中島 弘貴	飛田 英子	第9回貝塚団地		
平成5年9月	市民スポーツ大会	中島 弘貴	島村三枝子			
平成6年5月	市民卓球大会	都鹿野康弘	松井めぐみ	第10回貝塚団地		
平成6年9月	市民スポーツ大会	中島 弘貴	横堀 真紀			
平成7年9月	市民スポーツ大会	都鹿野康弘	飛田 英子	第11回西新宿		
平成8年9月	市民スポーツ大会	青山 和也	吉川 綾香			
平成9年9月	市民スポーツ大会	中島 弘貴	飛田 英子	第12回根金		
平成10年10月	市民スポーツ大会	竹野谷一幸	杉山 恵	第13回根金		
平成11年9月	市民スポーツ大会	中島 弘貴	杉山 恵	第14回馬込		
平成12年9月	市民スポーツ大会	中島 弘貴	杉山 恵	第15回中閨戸		

年月日	大会名	個人戦男子	個人戦女子	自治会対抗	中学生男子	中学生女子
平成13年9月	市民スポーツ大会	竹野谷一幸	飛田 英子	第16回中閩戸		
平成14年9月	市民スポーツ大会	竹野谷一幸	斎藤 光子	第17回馬込白		
平成15年9月	市民スポーツ大会	池田 実	飛田・杉山組	第18回貝塚団地		
年月日	大会名	個人戦男子	個人戦女子	小学生	中学生男子	中学生女子
平成16年9月	市民スポーツ大会	竹野谷一幸	飛田・杉山組	杉山百合子		
平成17年9月	市民スポーツ大会	池田 実	飛田・杉山組	海老沢 拓	山口 輝	高尾 真紀
平成18年9月	市民スポーツ大会	池田 実	飛田・佐藤組	秀高 元樹	山口顕太郎	杉山百合子
平成19年9月	市民スポーツ大会	染谷 智	竜野・佐藤組	大岩なつき	今井 馨	藤原 夏
平成20年9月	市民スポーツ大会	染谷 智	千葉・黒田組	杉山 正樹	会津 慶哉	滝口 瑤子
平成21年						
平成22年9月	連盟発足45周年記念講習会	ティケイヒョウプロ講習会				
平成23年9月	市民スポーツ大会	杉山 正樹	坂口・杉山組	中島大貴、木村美緒	峠 雄太	小泉 麻衣
平成24年9月	市民スポーツ大会	山崎 拓	呂・鈴木組	石立祐生、木村美緒	田村 太郎	小泉 麻衣
平成25年9月	市民スポーツ大会	国高 真彦	呂・鈴木組	中島大貴、漆畑ひなの	奥山 泰成	浦野 奈摘
平成26年9月	市民スポーツ大会	有江 優紀	呂・鈴木組	島田亮太郎、木澤朱音	中島 大貴	小倉 陽奈
平成27年9月	市民スポーツ大会	西尾 克也	呂・鈴木組	山本潤也、野崎穂果	篠部 亮	千葉 涼
平成28年9月	市民スポーツ大会	有江 優紀	松村・上田組	島田倫汰郎	安川 拓樹	浦野 涼奈
平成29年9月	市民スポーツ大会	山崎 拓	呂・斎藤組	熊谷僚馬、荒井花奈	山本 潤也	浦野 涼奈
平成30年9月	市民スポーツ大会	有江 優紀	浦野・浦野組	千野裕哉、中尾柚乃	石塚 優吾	林 郁奈
令和元年9月	市民スポーツ大会	有江 優紀	大島・前田組	奥山澄希、野口葵	倉内 楓真	富樫 舞



はなみずきオープン戦（役員と選手）

卓友会

昭和42年頃、卓球好きな仲間が集まりクラブとして活動を始めた。現在は大会を目指す人、健康維持と技術向上を目標にする人など楽しみながら練習に励んでいます。



ゆうゆうクラブ

黒浜クラブとして発足し、10数年後、ゆうゆうクラブと改名。現在、卓球大好きな人たちが試合に、練習に楽しんでいます。



なでしこ卓球会

なでしこ卓球会は昭和54年蓮田市卓球初心者教室からの発足です。

今は中央公民館で週1回80歳前後の12名ですが、健康と怪我に気をつけて楽しく卓球をしております。「80過ぎて卓球はできる」うれしいですね。



中央クラブ

私たちのクラブは卓球連盟に30年近くお世話になり、様々な行事等に参加させて頂き、有意義な時間を過ごさせて頂きました。本当に思い出深いです。



蓮田コミュニティクラブ

コミュニティクラブは、市の卓球講座を受講した人たちが立ち上げたクラブで、昭和・平成・令和と40数年間小山コーチのもとで、基礎から教えていただきました。

会員が若かった頃には、数々の試合にも出場し、活躍した楽しい思い出もたくさんありましたが、現在は会員も高齢化し、健康維持と体力づくりを目指して、楽しく練習しております。



● 蓮田市 寿会 (卓球愛好会) ●

平成11年3月会員数6名で発足しました。その後、年々会員が増えて平成24年には35名にもなりましたが、現在は男性13名女性14名の総勢27名の会になっております。

最高齢の85歳を筆頭に平均年齢77歳と高齢者中心の会です。

● レモンパイ クラブ ●

1996年4月より女性だけのチームとして発足しました。その後メンバーの入れ代わりはありましたが、皆さん生涯現役を目指して、元気に楽しく活動しています。

● ライラッククラブ ●

平成7年、初心者卓球教室より発足。当時は20名ほど、現在は10名ほどで楽しく汗を流しています。



● ラージボール部 ●

平成23年から活動。毎週木曜日にラージボールの練習をパルシーで行っています。



● クローバークラブ ●

私たちは、2019年3月から気心の知れた仲よし夫婦4組の8名で、週一回の卓球を行っているサークルです。サークル名は「クローバー」と言います。そうです、しあわせの四つ葉のクローバーです。



県大会などの記録

昭和51年関東社会人大会 シングルス2位 小野明美
 平成5年県レディース ダブルス1位 小山・飛田組
 平成7年県レディース 年代別1位 飛田英子
 関東レディース ダブルス1位 小山・飛田組
 平成10年県シングルス ベテランの部1位 飛田英子
 平成12年県レディース シングルス年代別 杉山 恵
 平成14年県レディース 40代 飛田英子
 平成16年県レディース シングルス40歳以下 杉山 恵

平成18年・19年東京選手権県 予選1位 杉山 恵
 平成19年関東レディース 団体2位 卓友会
 平成20年全日本マスターズ 杉山 恵
 平成24年第35回全国
 ダブルス 飛田英子・斎藤光子組
 令和元年全日本マスターズ選手権大会
 ダブルス 杉田麗麗・呂 永芳組
 令和3年全日本マスターズ 県優勝 呂 永芳

●蓮田ジュニア卓球クラブ●

蓮田ジュニア卓球クラブは、2000年（平成12年）に行われた蓮田市卓球連盟主催の親子卓球教室から発展して、全国で活躍できる選手の育成を目指し2009年（平成21年）に発足しました。

以来、子ども達が楽しく、卓球に向き合うことができる環境づくりを目指して、活動しています。

卒業生の中には、全日本選手権（一般）の出場や、高校ではインターハイや国体出場、中学では関東大会や全国中学校体育大会出場、また、小学生でも全日本選手権（ホカバ）出場や、全日本クラブ選手権、全国ホープス東日本ブロック大会出場など輝かしい成績を取ってくれています。

『蓮田ジュニア流 底力』の源は、
「出会った仲間を大切に、
いつまでも卓球を楽しく、
無理をせず、自分たちのペースで、
今、出来ることを頑張る。」です。



これからも、コーチ陣一同、「底力」の精神で、クラブのさらなる発展のために頑張っていきます。OB・OGの皆さんがいつでも気軽に帰って来られる、そんな自分の家のような場所であり続けたいです。

蓮田ジュニア卓球クラブ 会長 中島弘貴

顧問 小山節子

コーチ 中島弘貴、杉山 恵、岩井 学、
松田千亜紀、吉田 亮

蓮田ジュニア卓球クラブ 記録

全国大会個人戦出場

平成21（2009）年度

全日本選手権バンビの部…中島大貴

平成22（2010）年度

全日本選手権カブの部…中島大貴

平成23（2011）年度

全日本選手権カブの部／第9回全国ホープス選抜大会
埼玉県選抜第3位…中島大貴

平成24（2012）年度

第10回全国ホープス選抜大会

埼玉県選抜第3位…中島大貴

全日本選手権カデット（ダブルス）の部…木村美緒

平成25（2013）年度

全日本選手権ホープスの部／全日本選手権カデット
（13歳以下シングルス）の部…中島大貴

全日本選手権ホープスの部／全日本選手権カデット

（ダブルス）の部…木村美緒

全日本選手権ホープスの部…川内谷風美

平成26（2014）年度

全日本選手権バンビの部…島田倫汰郎

平成27（2015）年度

全日本選手権カブの部…野崎穂果

全日本選手権バンビの部…島田倫汰郎

全日本選手権バンビの部…橋本絢菜

平成28（2016）年度

全日本選手権カブの部／

第14回全国ホープス選抜大会…荒井花奈

平成29（2017）年度

全日本選手権ホープスの部…野崎穂果

全日本選手権カブの部…島田倫汰郎

全日本選手権バンビの部…奥山澄希

平成30（2018）年度

全日本選手権ホープスの部…荒井花奈

令和元（2019）年度

全日本選手権カデット（13歳以下）の部／

全日本選手権カデット（ダブルス）の部…中野柚乃

全日本選手権カデット（ダブルス）の部…荒井花奈

全日本選手権カデット（13歳以下）の部…千野裕哉

全日本選手権カデット（13歳以下）の部…熊谷僚真

全日本選手権カブの部…奥山澄希

令和2（2020）年度

新型コロナウイルス感染症拡大のため全国大会中止

令和3（2021）年度

全日本選手権ホープスの部／

全日本選手権カデット（13歳以下）の部…奥山澄希

全日本選手権バンビの部…松田泰佑

全国大会団体戦出場

蓮田ジュニア卓球クラブ（男子）

全日本クラブ選手権大会

平成22年度

平成30年度

ソフトテニス連盟



会長 庄山 勝義

蓮田市ソフトテニス連盟は、昭和47年10月1日（1972年）の蓮田市制施行と同時に創立された蓮田市体育協会に加盟、「蓮田市軟式庭球連盟」としてスタートしました。蓮田中学校庭球部の卒業生からなる「はちすの会」代表の三角正和さんが初代会長となり

ました。

第1回市民軟式テニス大会は、昭和48年10月、この年に新設された黒浜公園テニスコート（2面）と黒浜中学校（2面）・積水化学工業（2面）のコート合計6面の会場は距離のある三ヶ所に分かれた大会でしたので、大会運営に苦労されたと思います。しかし、この第1回市民大会を機に「はちすの会」「積水化学工業」「雪印乳業」「市光工業」の4団体による蓮田市軟式庭球連盟の組織づくりが始まりました。

昭和49年9月（1974年）には蓮田市主催の「第1回軟式テニス教室」が開催されました。その時の教室修了の皆さんにより市民有志の初めてのテニスクラブ「ファミリーテニスクラブ」が誕生しました。その後の蓮田市主催のテニス教室は平成4年度まで当連盟主幹にて開催、平成5年度からは蓮田市ソフトテニス連盟主催の開催となっております。

市民大会は、第2回以降は市営コートと積水化学コートの合計4面にて春と秋に年2回開催していま



した。昭和50年7月10日の第4回市民テニス大会には「ファミリーテニスクラブ」「蓮田高校」が初参加しました。6団体と一般からの参加で合計37ペアでの大会となりました。そして、この年から女子の部が新設され、記念すべき嬉しい大会となりました。

昭和51年（1976年）になると「はちすの会」の活動は硬式テニスに方向転換することになりましたので、昭和52年に当連盟主催で「第1回市民硬式テニス大会」を開催しました。そして、昭和53年には軟式テニス連盟から離れて硬式テニス連盟が発足されることになりましたので、それぞれの道に分かれて活動することになりました。

昭和52年度は蓮田高校にテニスコート（4面）が完成しましたので、第8回市民大会は黒浜公園と蓮田高校の合計6面の会場にて、9月には「市役所クラブ」が加盟しての第1回クラブ対抗戦を実施しました。

昭和53年は「雪印乳業」、昭和54年には「市光工業」が企業移転のため、そして「市役所」は部員減少のために団体加盟ができなくなり、非常に残念な年が過ぎました。

「的場テニスクラブ」が加盟した昭和54年の春は第12回市民大会の開催ですが、秋の大会は蓮田市体育協会主催「第1回蓮田市体協祭」の冠を付けての開催となりました（昭和55年（1980年）からは、秋の大会は市民スポーツ大会と名称変更して開催しています）。

市民テニス教室修了後には「木曜テニスクラブ」「サンテニスクラブ」「コスモステニスクラブ」「金曜テニスクラブ」「火曜会」「つくしんぼテニスクラブ」が次々に結成され、蓮田高校OBの「蓮田クラブ」も誕生しましたが、年次経過とともに会員減少等の諸事情により存続が困難となったため、ひとつひとつと解散していく状況が続いたことも非常に残念でなりませんでした。



昭和58年（1983年）になると、今後のテニス人口の増加とレベルアップのためには「小学生からの底辺拡大を図ること」が日本連盟の重要課題に挙げられましたので、蓮田市連盟でも小学生の育成に取り掛かることにしました。そして、この年の5月から「第1回蓮田市小学生テニス教室」を実施しました。昭和59年11月には「第1回ジュニア研修大会」の「小学生の部」と「中学生の部」を開催することができました。その後も教室と大会は名称変更しておりますが、現在も前期と後期に分けてそれぞれ年2回開催しております。

昭和62年（1987年）蓮田市において大変喜ばしい出来事が起きました。この夏8月の全国中学生大会・女子の部（団体戦）において、平野中学校女子テニス部が見事準優勝に輝きました。そして、これをきっかけに平野中学校には県内外から練習試合の申し込みが絶えなくなりました。「蓮田市で市外の中学校を招いて中学生大会を開催してもらえるとありがたいのですが」との石塚敏雄先生（当時平野中顧問）の熱望を受けて、蓮田市軟式庭球連盟主催にて昭和63年8月28日（1988年）に「第1回蓮田市中学生軟式庭球選抜研修大会」を開催する運びとなりました。黒浜公園5面と県立蓮田高校4面のコートにて、市内中学校と県内外の中学校、女子15校、男子12校が参加し開催しました。その後も回を重

ねて通称「蓮田カップ」（ミニ関東大会）と呼ばれるようになりました。平成13年（2001年）第14回大会からは「蓮田市中学生関東近都県ソフトテニス選抜研修大会」と大会名を変更しました。令和4年（2022年）の今年には第34回大会を迎えました。男子24校、女子30校の男女合わせて約450名参加による大きな歴史ある大会となっております。

その間、平成7年（1995年）には蓮田市立黒浜西中学校男子テニス部が全国ジュニア選抜ソフトテニス大会王座決定戦出場、平成10年には水町由紀・竹中裕美（以上蓮田中）・石川梓・栗原里奈（以上平野中）の皆さんが全国大会出場を果たしております。

一方、蓮田市のジュニア（小学生）テニスのレベルアップを図るために市外のジュニアテニスクラブとの交流大会を地元で開催したいと常々考えておりましたが、平成22年10月（2010年）に「第1回蓮田市近隣ジュニアテニスクラブ交流大会」を開催することに致しました。第1回大会は近隣の6クラブから160名のご参加をいただきました。その後は可能な限り参加クラブを新たにお誘いしておりますが、令和4年10月（2022年）には12クラブから約300名の参加のもと、1試合でも多く経験させる内容の大会を開催しております。

また、中学生の次年度のために、さらにレベルアップをしてもらいたいという目的をもって、平成26



年（2014年）3月に「第1回蓮田庄山杯中学生選抜ソフトテニス研修大会」を開催することに致しました。男女各30校による団体戦を継続して実施しております。

他方、高校生、一般およびシニア会員では、県大会はもとより関東大会や東日本大会、全国大会に出場して幾多の実績を上げております（別表にて全国大会出場者を記載）。各クラブでの日ごろの鍛錬による成果と感服しております。

遡りますが、平成3年（1991年）から軟式庭球はソフトテニスと呼ぶようになり日本軟式庭球連盟は日本ソフトテニス連盟と名称変更しましたので、蓮田市軟式庭球連盟も平成4年度（1992年度）から蓮田市ソフトテニス連盟に名称変更いたしました。

平成4年度の連盟加盟クラブは6団体、160名が加盟しております。クラブの案内を後述しておりますので、これからソフトテニスを始めたい方は、初心者、経験者を問いませんので、お気軽にお問い合わせください。テニスを楽しみましょう！各クラブでは新メンバーをお待ちしております。

蓮田市ソフトテニス連盟の年間行事は別表の通り、多岐にわたる大会や講習会を実施しております。皆

様のご参加により賑やかに開催できることを願っております。

蓮田市ソフトテニス連盟のスタッフは、ソフトテニスによって、いつまでも楽しくプレイするのはもちろん、リフレッシュした皆さんの笑顔と健康が最高の喜びと考えております。海外の研究データによりますと、テニスは健康寿命を伸ばすスポーツのNo.1となっております。

80歳以上の会員が今日も元気にソフトテニスをプレイしている姿に「すごいなあ」と思いながら、ソフトテニスは生涯スポーツにふさわしいスポーツであるとつくづく実感しております。

蓮田市ソフトテニス連盟は、若々しい精神力と体力をいつまでも維持できるソフトテニスのための楽しいプランをこれからも心がけたいと考えております。そして、蓮田市から素晴らしいプレイヤーに育った仲間が蓮田市のソフトテニスをけん引する人材に成長されることを期待しながら、今後も活動してまいります。ソフトテニスは、蓮田市のスポーツ振興に結び付き、市民の活性化に寄与できるものと考えておりますので、皆様のご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。



ファミリーテニスクラブ

会長 安宅 昭 電話 090-9812-0239

当クラブは、会員の健康増進と親睦を深めることを目的とし、ソフトテニスを生涯スポーツとして活動しています。

昭和49年秋に開催された蓮田市第1回テニス教室修了者に「今後もソフトテニスを楽しみましょう」と呼びかけて結成、令和4年（2022）11月で創立48年になります。

会員が増えてきてコート確保に苦労していた頃「専用のコートが欲しい」と気運が高まりました。たまたまご厚意により土地を無償借用できましたので、椿山に2面、後に国立東埼玉病院敷地内に2面、自分たちの労力をもって自分たちの専用手作りコートを完成させました。この時の喜びは何物にも代えがたいものがありましたが、現在は黒浜公園テニスコートを利用して活動しています。

練習は、月・木・土・日曜日に20～80歳代まで幅広い年齢層が老若男女和気あいあいと4時間テニスを楽しんでいます。クラブ内大会は年3回、楽しい合宿は6月に実施しています。



大会は、市内大会への参加はもちろん、県大会、関東大会、東日本大会、全国シニア大会、レディース大会等に参加して、嬉しい成績を上げるメンバーもおります。また、埼玉県レディースクラブ対抗戦は10名の団体戦ですが、長年にわたり「今年こそは！」とブロック優勝を目指して、みんなの団結力が一番感じられる大会になっています。

当クラブでは、年齢、経験の有無にかかわらず募集しています。高校生以下の家族は、ファミリー会員として会費免除です。皆さんのご参加をお待ちしております。（年会費 12,000円、入会金なし）

サンデーテニスクラブ

クラブ代表者 新井 貞男
電話 048-768-1029

日曜日に活動することから命名。昭和57年創立、今年で結成40年になります。

ソフトテニスに興じて体力の向上と健康の維持・増進を図るとともに、会員相互の親睦を深めることを狙いとして、毎年休むことなく、いつも笑い声の絶えない活動をしていることが自慢の楽しいクラブです。

練習は、毎週日曜日か土曜日の2～3時間。黒浜公園テニスコートか蓮田松韻高校テニスコートで20歳代～70歳代までの男女14名のメンバー（休部者6名）で活動しています。

準備体操の後、乱打そしてメンバー同士で練習試合をして楽しんでいます。

市連盟主催行事の春季、秋季ソフトテニス大会等に参加するだけでなく、クラブでのテニス合宿旅行（1泊2日）、お花見テニス大会・忘年テニス大会、懇親会（総会や忘年会時）などの折に触れての



クラブの親睦行事はいつも印象深い思い出作りとなっています。

<メンバーからの一言>

◎優勝カップ獲得を目指して頑張ったクラブ内大会や、観光地の風景やその土地の名産品を味わうことも楽しみの一つであった合宿大会など懐かしい思い出です。これからも健康維持のため可能な限りテニスを続けていきたいと思っています。（60歳代）

◎会社現役の30数年前、蓮田を離れて東北の地に単身赴任をしていた頃、クラブのメンバーとテニスをするのが楽しみで、毎週末欠かさず帰省していました。懐かしい思い出です。（70歳代）

全くのテニス初心者の方は勿論、多少ともラケットを握っていた方、一緒にテニスを楽しみませんか。入会はいつでも大歓迎です。（入会金1,000円、月額500円）



ホリデーソフトテニスクラブ

ホリデーソフトテニスクラブは、設立14年目を迎えるクラブで、当初は小学生の「蓮田ジュニアテニスクラブ」の父母さんたち数名が集まって「自分たちもテニスを楽しみたい」という方々でスタートしました。

会員メンバーは、若かりし頃学生時代にテニスをしていた方が再び始めた、未経験ですが子供と楽しくテニスをしてみたい、また単純に健康の為にゆったりとテニスをしてみたい、と様々な方々が集まってワイワイ明るくテニスを楽しんでいるクラブです。



会長：下山 昭男

E-mail poohbear-44blues@ezweb.ne.jp

現在では会員も30名以上になり多くの方に参加いただいています。

活動状況は毎週末（土日のどちらか）に黒浜公園テニスコートを利用し、ご都合に合わせての自由参加です。

当クラブは未経験者を含めて「週末に楽しく健康に、をモットーに活動しているクラブです。興味のある方は下山までご連絡ください。（年会費 3,000円）

蓮田ジュニアテニスクラブ

蓮田ジュニアテニスクラブの成り立ちは、平成3年に黒浜ジュニア・蓮田ジュニア・黒浜南ジュニアの3クラブの統合により、新たな「蓮田ジュニアテニスクラブ」として設立しました。今年で創立31年となりますが、最古の黒浜ジュニアのスタートから数えると39年目になります。

蓮田ジュニアは、黒浜公園を拠点に毎週土曜日・日曜日に約4時間、水曜日（月2回）に黒浜西小学校体育館にて、1年生～6年生までの小学生を対象に活動を行っております。

市内大会や県大会のほか市外地域の様々な大会に参加しています。近隣ジュニアとの交流試合、審判講習会や親子大会、全国トップ選手たちの講習会や一般の方と共に参加するテニス教室に参加して、技術的なことだけでなく、ソフトテニスの楽しさやチームプレーの大切さ、礼儀や仲間を思いやる心など、様々なことを親子共々学んでいます。

また、クラブ会員は、住んでいる地域や学校もみんなバラバラですが、ここに来なければ出会えなかった仲間と友達になり、優しく時に厳しく指導し

育成会会長 越塚 友美

てくださるコーチと共に、学年には関係なく楽しく練習に励んでいます。

保護者同士もアットホームな雰囲気の中、みんなで協力しながらチームを支えています。

これから何かスポーツを始めたいという方やソフトテニスに興味のある方は、ぜひ蓮田ジュニアの練習に参加しに来てください。

一緒にソフトテニスを楽しみましょう！



Nextテニスクラブ

Nextテニスクラブ代表 小野 栄
電話 090-3478-1143

令和元年11月にオムニコート2面を造成し、スタートを切りました。

現在の活動状況は、60歳以上（男子、女子）の練習会（毎週木曜日1日）、月1回（毎月第2回日の木曜日）の月例大会を開催。東京、神奈川、栃木、千葉、埼玉の各県から来て頂いており（最大20組程度）、毎回盛況の大会となっております。また毎週水曜日は10時～15時頃までママさんの練習会を開催（男子も可）、色々なレディース大会に参戦頂き

優秀な成績を残されています。土曜、日曜は実業団（株式会社ベスト様の練習）、Nextジュニア（県小学生連盟、スポーツ少年団に加盟）、中学生の教室も行っております（平野中、川通中、西原中等も教室に参加頂いております）。また今年からNext大会（親子、Nextテニスの会員の方であればどなたでも参加可能）を開催します。

皆、楽しくソフトテニスが好きになるように指導していきたくと思っています。



ソフトテニス連盟年間行事

蓮田市ソフトテニス連盟の年間行事は以下の通り、多岐にわたる大会や講習会の活動を行っております。皆様のご参加をお待ちしております。

- ・市民大会（春季）
- ・市民スポーツ大会（秋季）
- ・蓮田市ジュニア研修大会（小学生）および親子大会（前期、後期）
- ・市内中学生大会（前期、後期）
- ・近隣ジュニアテニスクラブ交流大会
- ・近隣地区大会（近隣市町連盟との交流大会）
- ・蓮田市中学生関東近都県ソフトテニス選抜研修大会（8月）
- ・蓮田庄山杯中学生ソフトテニス選抜研修大会（3月）
- ・ソフトテニス教室（小学生、一般、シニア対象に前期、後期各5回）
- ・小中学生講習会（日本のトップ選手、実業団リーグチーム選手の協力により開催）

以上 10大会 2教室 1講習会

令和4・5年度（2022・2023年度）

蓮田市ソフトテニス連盟役員

役 職	氏 名	役 職	氏 名	役 職	氏 名
会 長	庄 山 勝 義	理 事	五十嵐優美	理 事	酒 井 昭 久
副 会 長	川 島 正 好	理 事	越後谷貴志	理 事	関 口 陽 子
副 会 長	矢 部 幸 久	理 事	遠 藤 良 明	理 事	高 橋 大 樹
会 計	平 林 光 子	理 事	大塚ゆう子	理 事	仲 田 明 子
事務局長	吉田富美恵	理 事	金澤まさ子	理 事	中 塚 伸 泰
監 事	阿 部 遙	理 事	小 糸 佳 次	理 事	白 田 澄 男

蓮田市ソフトテニス連盟 事務局 hasuda_st_jimu@yahoo.co.jp

サポータースタッフ

LINE 連絡	
安西 一浩	高橋 豊子
安宅 昭	平林 雅大
影山 拓海	宗 悟 司
川城 和巳	宗 光 輪 子
小岩井正信	矢 部 朋 紀
下山 昭男	吉田 幸枝
高橋 修平	

ソフトテニス全国大会出場者

吉間 奈津子	昭和60年(1985)全国中学校選手権大会 個人戦ベスト8
吉沢 由美	昭和60年(1985)全国中学校選手権大会 個人戦ベスト8
平野中学校 女子テニス部	昭和61年(1986)全国中学校大会団体戦 昭和62年(1987)全国中学校大会団体戦2位
黒浜西中学校 男子テニス部	平成7年(1995)全国ジュニア選抜大会王座決定戦、平成8年(1996)全国中学校大会団体戦
水町 由紀	平成10年(1998)全国中学校選手権大会 個人戦 平成12年(2000)全国高校総体女子個人戦、平成13年(2001)国体少年女子団体戦
竹中 裕美	平成10年(1998)全国中学校選手権大会 個人戦
石川 梓	平成10年(1998)全国中学校選手権大会 個人戦
栗原 里奈	平成10年(1998)全国中学校選手権大会 個人戦
伊藤 誠	平成9年(1997)全国高校総体個人戦、平成10年(1998)国体高校団体戦、平成13年(2001)全日本学生選手権2位、平成15年(2003)全日本クラブ選手権団体2位
伊藤 実	平成9年(1997)全国高校総体個人戦、平成10年(1998)国体高校団体戦、平成15年(2003)全日本クラブ選手権団体2位
藤田 倫正	平成10年(1998)国体高校団体
野口 敏江	平成10年(1998)レディース全国大会埼玉県代表、平成11年(1999)全日本レディース全国大会、個人戦ゆり3位、平成15年(2003)全日本選手権女子50 3位
菊地 貴樹	平成11年(1999)全国高校総体団体戦、個人戦
岩淵 夢来	平成12年(2000)国体少年女子の部
原田 篤	平成12年(2000)全国高校総体男子個人戦
長澤 輝雄	全日本シニア選手権 平成15年(2003) 男子50優勝、平成16年(2004)同2位、平成18年(2006)同55 2位、平成19年(2007)同55 2位、平成22年(2010)同55 3位
山口 裕美	平成15年(2003)国体少年女子団体5位、平成20年(2008)全日本社会人選手権大会ベスト16、平成23年(2011)全日本選手権大会
伊藤 考哉	平成15年(2003)全国中学校大会、平成17年(2005)国体少年男子の部、平成18年(2006)全国高校総体個人戦9位
市川 郁佳	平成15年(2003)全国中学校大会
篠崎 一樹	平成15年(2003)全国中学校大会
徳田 絵里子	平成15年(2003)全国中学校大会
沼倉 つばみ	平成16年(2004)全国中学校大会
高橋 美貴	平成16年(2004)全国中学校大会
小山田 有希	平成20年(2008)全国高校総体女子個人戦
川島 彩季	平成22年(2010)全日本高校選抜大会団体戦
平林 光子	平成25年(2013)全日本レディース決勝大会 ベスト8
小野 栄	令和元年(2019)全日本シニア選手権 男子70 2位

蓮田市ソフトテニス市民 春の大会<優勝者>

※第1回～11回までは回数通番で開催。

回	西暦	和暦	月	日	男子	女子
1	1973	S48	10		若林・齋藤	
2	1974	49	7		出野・長谷部	
3	1974	49	10		若林・齋藤	
4	1975	50	7	23	二村・内海	吉岡・田中
5	1975	50	11	12	古川・谷野	根岸・里見
6	1976	51	5	29	緒方・藤本	菊池・三浦
7	1976	51	10	3	二村・内海	西尾・里見
8	1977	52	5		緒方・雨海	若林・山口
9	1977	52	10	30	小林・竹野谷	蓮見・高川
10	1978	53	6	11	長谷部・金子	西尾・岡野
11	1978	53	11	12	二村・雨海	西尾・岡野
12	1979	54	5	20	大坪・齋藤	西尾・岡野
13	1980	55	6	8	中山・山田	黒須・岡野

回	西暦	和暦	月	日	男子1部	男子2部	女子1部	女子2部	女子3部
14	1981	56	4	24	福永・雨海	齋藤・渡辺	野口・里見	野元・佐々木	
15	1982	57	5	30	藤本・雨海	杉山・野口	里見・岡野	林・篠原	
16	1983	58	5	1	黒須・隈部	名倉・名倉	野口・佐々木	根口・有江	
17	1984	59	6	3	福永・藤本	高橋・山崎	野口・里見	野元・平井	杉谷・高橋
18	1985	60	4	21	黒須・秋山	斉藤・丸山	野口・里見	今野・有江	元井・齋藤
19	1986	61	4	21	島崎・浅田	碓井・新井	野口・里見	貝瀬・福島	
20	1987	62	6	7	黒須・隈部	杉山・桃澤	下條・岡野	日浦田・石井	
21	1988	63	6	5	星野・山田	早乙女・下條	下條・岡野	三木・宮崎	
22	1989	H 1	7	2	星野・黒須		下條・岡野	高橋・増淵	

回	西暦	和暦	月	日	男子1部	男子2部	女子1部	女子2部	壮年ミックス
23	1990	2	6	17	長澤・安宅		下条・長澤	越塚・古賀	阿部・平井
24	1991	3	6	9	黒須・隈部	手島・手島	野口・長澤	塩入・金澤	
25	1992	4	6	12	福永・藤本		下条・長澤		
26	1993	5	6	13	星野・隈部	高塚・坪井	野口・長澤		
27	1994	6	6	12	秋山・小野		野口・長澤		

回	西暦	和暦	月	日	一般男子	壮年	女子	壮年ミックス
28	1995	7	6	11	黒須・隈部	阿部・平井	庄山・長澤	
29	1996	8	5	12	長澤・安宅	古川・手島	野口・池田	
30	1997	9	6	22	伊藤・栗原	阿部・平井	野口・池田	
31	1998	10	5	24	越後谷・秋山		野口・池田	熊谷・小森谷
32	1999	11	6	27	雨天中止			

回	西暦	和暦	月	日	一般男子	女子・シニア	壮年ミックス	壮年ミックス2部
33	2000	12	6	11	小野・安宅	徳永・大越	古川・佐々木	
34	2001	13	6	10	高・安宅		古川・佐々木	
35	2002	14	5	12	越後谷・榎本		野口・手島	呉羽・呉羽
36	2003	15	5	11	押切・新井		平船・桑原	福島・貝瀬

回	西暦	和暦	月	日	一般男子	女子・壮年
37	2004	16	6	6	越後谷・山田	長谷部・金澤
38	2005	17	5	8	野口・安宅	藤沢・金沢

回	西暦	和暦	月	日	団体戦
39	2006	18	5	14	阿部・川島・平林・安宅・金澤・福島・桜井
40	2007	19	5	13	阿部・関口(利)・小森谷・吉田・金澤・関口(茂)
41	2008	20	5	18	押切・古川・高橋(伸)・榎本・原田・小野瀬
42	2009	21	5	10	秋山・川島・見城・不破・関口(茂)・九法(正)・関口(陸)
43	2010	22	5	9	平田・大澤・貝瀬・大澤(佳)・館野・小森谷(徳)・高橋(慎)

回	西暦	和暦	月	日	一般男子	女子・ミックス	シニア・ミックス	シニア・ミックス2部
44	2011	23	4	24	矢部・高橋	吉田・吉田	今野・原田	
45	2012	24	4	22	佐久間・越後谷	阿部・関口	遠藤・吉田	大澤・川島(通)
46	2013	25	4	28	加藤・籠谷	佐藤・矢部		
47	2014	26	4	20	船戸・加藤	川島(彩)・谷口		
48	2015	27	4	19	野田・越後谷	川島(彩)・谷口	阿部・原田	
49	2016	28	4	24	高橋・不破	越後谷・山口	平林・庄山	
50	2017	29	4	18	平林・北島	川島(彩)・川島(通)	平林・安宅	
51	2018	30	4	15	平林・尾崎	越後谷・山口	小森谷・庄山	
52	2019	31	4	14	平林・松本	越後谷・越後谷	中野・見城	
53	2020	R 2			新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止			
54	2021	3	4	18	加藤・久野		平林・安宅	交流の部開催
55	2022	4	4	24	矢部(朋)・川城	中村・越後谷	平林・庄山	

剣道連盟



会長 下川 龍二

蓮田市スポーツ協会50周年に寄せて

蓮田市スポーツ協会50周年おめでとうございます。

また、日頃より、関係者の皆様には市民の健康維持、並びに健全育成にご尽力いただき、深く感謝申し上げます。

時を同じくして、設立50周年を蓮田市剣道連盟も迎える事が出来ました。思い起こせば、昭和47年、高度成長期の末期でございます。ベビーブームの余波あって、子どもの数も大勢で剣道が盛んでありました。そんな中、蓮田市剣道連盟は誕生し、概ね5団体が常時活躍しておりました。個人の道場や市の体育施設を借りての稽古でしたが、子供たちが溢れかえるような盛況ぶりで、大会に出るにも選手の座を勝ち取るのにひと苦労だったと聞いております。平成になると少子化現象の影響を受け、また、少年スポーツの多様化もあって子どもたちがどんどん減っていきました。

しかし、各稽古処の情熱あふれる指導により、埼玉県の代表として全国大会に出場選手を数多く輩出しております。

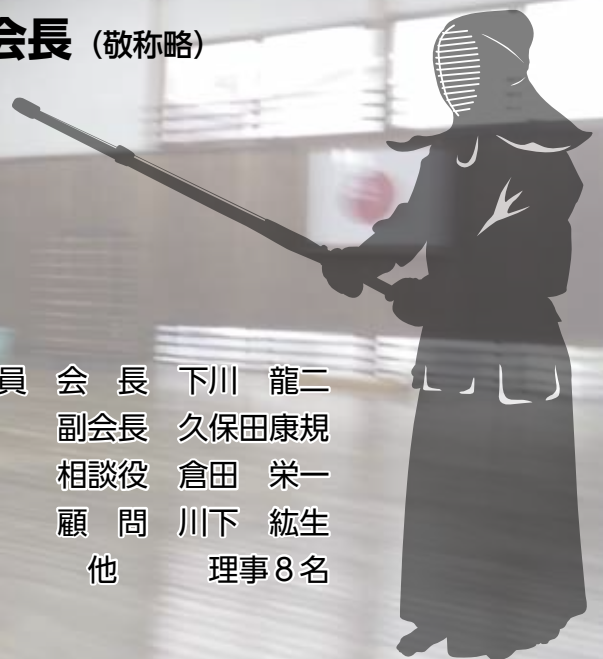
剣道は、日本古来の伝統文化であると同時に武道である半面、競技種目であるためか、結果（勝利）だけが称賛される昨今ですが、剣道が持っている武士道精神の本質を再認識しなければならないと痛感しております。

令和の今、登録会員は100余名です。元気で向上心を持つ高齢の剣道愛好家がいちばん稽古量が多いです。また、女性の剣道家も増加の傾向にあります。そんな先輩方のお力添えをいただきながら、厳しい稽古だけではなく、楽しく親しみのある稽古を試行錯誤し、元気で礼儀正しく、強くたくましい精神を持った子供たちを育成すると同時に、老若男女が集う健康増進に寄与する活動をしたいと思っております。

蓮田市剣道連盟歴代会長（敬称略）

昭和	47年（1972年）	小引	良輔
	// 58年（1983年）	横田	種雄
	// 62年（1987年）	倉田	栄一
平成	30年（2018年）	下川	龍二

令和	4年現在役員	会長	下川 龍二
		副会長	久保田康規
		相談役	倉田 栄一
		顧問	川下 紘生
		他	理事8名





蓮田錬心館



黒浜少年剣友会



蓮田市城剣友会



長生館道場

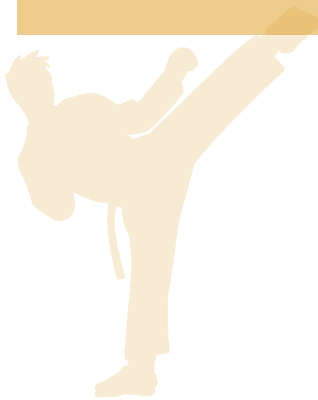


蓮田市城剣友会



空手道連盟

蓮田市空手道連盟の歩み



・創立：昭和45年（1970年）9月

・歴代会長

初代	三鬼 實	昭和45年9月～昭和55年8月
2代	三輪 衛	昭和55年9月～平成10年3月
3代	三輪 崇	平成10年4月～平成18年1月
4代	染谷 洋	平成18年2月～平成24年1月
5代	塩野谷功一	平成24年2月～現在に至る



蓮田市空手道連盟 会長挨拶



会長 塩野谷 功一

蓮田市スポーツ協会（旧蓮田市体育協会）設立当初から蓮田市空手道連盟は加盟しており、加盟団体の中でもスポーツ協会の歴史を知る数少ない組織の一つです。

空手道は身体を鍛えるだけでなく武道の伝統の中で培われてきた礼節、勇氣、忍耐力、協調性、思いやり

などを学ぶ事ができます。

身体を動かす事で強くなりたい、相手に勝ちたいと思う以上に自分自身に向き合いながら鍛錬を行う事や異年齢の集団と共に相手を敬う事、ときには年少者を指導する事などで社会性を育てる事ができます。

又、空手道は大人になって何歳からでも始められる事ができ、その訳は稽古が基本的に自分の体重以上の負荷がかからないように考えられており非常に均整のとれた全身運動だからです。

生涯、己の体力に合わせて続けることが出来ます。

活動においては（コロナ期間は中止）寒稽古、鏡開き式奉納演武、夏合宿、昇級審査、昇段審査、大会、各種講習会等の行事を行いプレッシャーがかかる中で結果を出す事で自信につながります。

空手でしか味わえない体験を重ねて、思考力、判断力、人間性等、人格形成に大切な資質を育てています。

蓮田市空手道連盟の特長の一つでもある海外の空手愛好家（大人～子供）との国際交流も行っており（コロナ期間は中止）様々な国の方達が蓮田市を訪れて交流を深めています。

蓮田市空手道連盟 役員名簿

会 長	塩野谷功一	
副会長	岡田 正志	戸張 勇
理 事	島村 健一	呉屋ファビオ
	大久保要夫	栗原 伸介
	染谷 篤子	山口 翔
	太田 直美	遠藤 宏行
	永吉 美香	河野 幸一



蓮田市民スポーツ大会

加盟団体紹介

天真館本部道場

蓮田市江ヶ崎1424

☎048-768-6342

館長：三輪 衛 道場長：島村 健一

天真館は昭和43年（1968年）9月に蓮田市椿山に道場を建設して創立54年になります。

現在の蓮田市江ヶ崎に移転したのは昭和57年1月です。

約500坪の敷地内には道場&トレーニング室、宿泊施設「洗心寮」に駐車場が完備され、国内外の会員が快適に研鑽することが出来る環境を整えています。

天真館は世界に通じる空手の指導と国際交流を活発に行い広い視野と考えを持ったグローバルな人材育成を心掛けて活動しています。

本部日曜教室

蓮田市江ヶ崎1424

☎048-768-6342

支部長：呉屋ファビオ

本部日曜教室は天真館道場で毎週日曜日午後4時から5時15分まで年少者からシニアまで合同で稽古しています。

支部長・呉屋ファビオ師範の子どもからシニアそして経験豊富な会員まで親切丁寧な指導は秀逸で、その指導を慕って他支部の指導員も稽古に来る活気溢れる教室です。



夏期合宿



蓮空連の会員がTV出演



寒稽古



サッカー協会



会長 中野 政廣

蓮田市サッカー協会はスポーツ協会（旧体育協会）発足と同時に加盟しましたので同じように50周年になります。発足当時、永井宏氏が会長を務め「セキスイ」「東光」「市役所」「キッカーズ」「アスカ」等々多くの社会人チームが競い合い、協会の発展に寄与されてきました。その後斎藤

敏夫氏（現スポーツ推進委員）が引継ぎ少年チーム（少年団）も協会に参入し、社会人、少年ともに切磋琢磨してきました。平成20年から中野政廣氏が会長を引継ぎ現在に至っております。

その後社会人のチームが諸般の事情により解散されたため、現在は少年チームの5チーム（蓮田キッカーズ、蓮田レックス、ジョイフルFC、FCリアン、

FCベルサ）で活動しております。サッカー界では成人・大学が1種、高校2種、中学3種、少年（小学生）4種に分類され少年は4種リーグと言って各地区にわかれて4種リーグ戦で戦い、県大会、全国大会を目指しています。令和3年度はリアン、ベルサの2チームが東部大会まで勝ち進みました。5年生の大会ではベルサが全国で優勝して、令和4年度も県大会を目指しています。

コロナ禍となり、密を避けるために練習や試合ができない時期があり、ここ数年は各大会の開催が制約されてきていましたが、市内でも従来の活動に戻ってきており、11月には市内・市外12チームによる大会が開催され選手達はカップを目指して日頃の練習に励んでおり、また、皆が技術を向上させて将来のJリーガーを夢見ています。





役員並びに加盟団体

役員

会長	中野 政廣	理事	北村 清
理事	大塚 晴夫	理事	小林 篤史
理事	水木 学		
会計	秋葉功四郎		
事務局	青木 哲夫		

加盟団体

- ・蓮田キッカーズ (代表 大塚晴夫)
- ・蓮田レックスFC (代表 青木哲夫)
- ・ジョイフルフットボールクラブ (代表 北村 清)
- ・FC RIAN (代表 水木 学)
- ・FC VELS A (代表 小林篤史)

柔道会



会長 山口 恒雄

蓮田市柔道会は、二つの柔道団体が昭和63年7月に合併し現在に至っています。

蓮田市における柔道の歴史は、昭和18年 天野清一が浦和商业学校で柔道を始めたことにより、天野重太郎が代表世話人となり富所寛一郎 六段、高野甚平 五段、岩爪 五段が、蓮田駅前の須賀神社の拝殿を借用して稽古を始めたのが最初であった。その後、元蓮田市長 吉田周治、地酒「清龍」社長 岩崎清大等が加わったが太平洋戦争で中止された。

その後、元蓮田市長 吉田周治、地酒「清龍」社長 岩崎清大等が加わったが太平洋戦争で中止された。

昭和43年

小学一年生の山崎茂が、岩槻市の養生館に通っていた菊池孝司 四段の門を叩いた事により、「蓮田市柔道会」の歴史が始まった。当時は見沼用水の堤防や近くの牛小屋を借用し裸電球の下で稽古に励んだ。

昭和45年

門弟が増え、指導者は菊池孝司 四段、細田光彦 四段、藤生 清 四段、藤生 勇が加わった。

昭和48年

蓮田市教育委員会、埼玉県柔道連盟に蓮田市柔道会として正式に承認され発足した。

稽古場所は蓮田市勤労青年ホームが使用された。

指導者は、菊池孝司会長、細田光彦、藤生 清、藤生 勇、猪熊敏雄 六段、飯野丈司 四段、浦野 久 四段、大沢佳国 弐段、公地次男 弐段、高橋鉄治 参段、木下明男 参段、増田朝榮 弐段、高橋昌信 参段が加わった。同時に後援会組織が結成され、会長を中心に保護者が柔道会の方針を理解し協力いただけるようになった。

昭和55年

藤生 清が会長になり、稽古場所は蓮田中学校を借用した。当時女子有段者に阿部きよ子、野口治子、石神井由美子が在籍。

昭和59年 2月

市議会議員 金子進作が東北線（宇都宮線）の線路脇に「蓮田武道館」を新設した。

指導者は、増田一郎 六段 矢端(山口)恒雄 四段（埼玉県警察）、福田 輝 五段 川田昭義 五段（警

視庁）、滝沢義夫（皇宮警察）を招き柔道の稽古を始めた。

昭和63年 7月

「蓮田市柔道会」と「蓮田武道館」とが講道館 嘉納治五郎師範の理念のもと共に賛同して合併がなされた。稽古場所は蓮田武道館。初代会長に菊池孝司が就任した。

当時の指導者

菊池孝司、高橋昌信、飯野丈司、浦野 久、高橋鉄治、村井 強、猪熊敏雄、本橋幸夫、矢端(山口)恒雄、木下明男、藤生 勇、藤生 清、萩原明暢、原田英昭、小島浩明、山崎 茂、福田 輝、滝沢義夫、川田昭義、石神井由美子、野口治子

初代事務局長 萩原幸代

平成 4年

浦野 久が2代目蓮田市柔道会会長に就任した。蓮田武道館は閉鎖され蓮田中学校柔道場を借り稽古場所とした。

平成 6年

平成6年から菊池孝司が3代目会長として返り咲いた。

蓮田市大字閩戸2343番地に蓮田市総合市民体育館（パルシー）が新設され稽古場所を蓮田中学校柔道場から蓮田市総合市民体育館（パルシー）2階武道場に移動した。

指導者 21名 会員 20名

平成 6年 11月 20日

蓮田市総合市民体育館（パルシー）落成記念近隣少年柔道大会が実施された。

埼玉県警察特別練習監督 中島政司 七段にも指導をお願いした。

出場選手

小3男子の部	中原 道哉		
小4男子の部	小林 史典		
小5男子の部	中島 裕樹	加藤 太輔	鈴木 陽介
中2男子の部	川田 広信	菊池 直彦	
中3男子の部	田中健太郎		
小3女子の部	高橋 里枝	中島 愛	
中1女子の部	古市かなえ	中原千寿香	
中2女子の部	和気いずみ		

平成10年

蓮田市柔道会会長に菊池孝司から（村井 強・山崎 茂・本橋幸夫）3名に対し会長職を依頼し、3人同時に就任した。

平成16年

吉田 正が指導者として加わった。

合併後、蓮田市柔道会は毎年10月第一日曜日午前9時から午後2時まで蓮田市総合市民体育館（パルシー）2階武道場において、指導者のトーナメント方式の試合・生徒のリーグ戦方式の試合を実施し健闘をたたえあった。平成の後期からは近隣少年柔道大会として大会が実施されている。

合併後の会長及び事務局長

(会 長) 初代 菊池孝司
2代 浦野 久
3代 菊池孝司
4代 村井 強・山崎 茂・本橋幸夫
5代 村井 強
6代 山崎 茂
7代 矢端（山口）恒雄
(事務局長) 初代 萩原幸代
2代 山崎泰枝
3代 吉田佳子

昭和63年7月～平成3年
平成4年～平成5年
平成6年～平成9年
平成10年～平成11年
平成12年～平成15年
平成16年～平成21年
平成22年～
昭和63年～平成17年
平成18年～平成21年
平成21年～

令和4年現在、当会で活躍している主な役員

会 長 山口恒雄 五段
副 会 長 吉田 正 参段
監 事 高橋昌信 七段
本橋幸夫 四段
強化指導者 村井 強 五段
事 務 局 長 吉田佳子

蓮田市柔道会は創立時より柔道を通しての『青少年の健全育成』を理念として指導を行い、各分野において活躍しています。





ソフトボール協会



会長 平松 秀雄

蓮田市スポーツ協会創立50周年おめでとうございます。蓮田市ソフトボール協会も今年度で創立44年になります。ソフトボールは野球に類似したスポーツで一番の特徴は投手が下手投げで投球することです。投球方法には3種類あり現在はウインドミル投法が主流で腕を風車のように一回転して投げます。投捕間(14.02m)および塁間(18.29m)が短く狭いグラウンドでもプレーが出来、スピードのあるスポーツです。現在はI部、II部、III部のクラス別に分かれ

ており、21チームで構成しています。全国大会および県大会で活躍しているチームもあり、県大会では上位の成績も納めています。しかしながら昭和57年の登録チーム数84をピークに減少し続け現在に至っています。子供会およびPTAでも盛んに大会を開いた時期もありましたがスポーツの多様化と時代の流れ等で減少したのでしょうか？現在は20代からシニアまでそれぞれの体力に合った各大会を開催しています。健康と地域交流のためにも多くの参加を希望しています。子供たちにもキャッチボールの機会を増やしたいです。

これからもソフトボールを楽しめるチームおよび県大会等で活躍できるチーム作りを目指したいと思っています。

沿革

昭和38年、竹内栄一氏(蓮田市体育協会二代目会長)らが中心となり、商工会青年部体育部がソフトボールを早朝野球として取り入れ、各町内支部対抗リーグ戦を6チームの参加により実施したことが始まりです。以後活動を続けてきましたが、昭和52年市制5周年記念(蓮田市自治連合会、蓮田市教育委員会主催)の行事として自治会対抗ソフトボール大会との名称で、43チームの参加により大会が開催された。この機会に参加チームの要望と協力で蓮田・黒浜・平野地区各代表者が集まり話し合い鳴海育博氏を初代蓮田市ソフトボール協会会長として昭和52年秋に発足した。昭和53年蓮田市体育協会加入。

昭和52(1977)年～昭和56(1981)年

- ・トーナメント方式で春季大会秋季大会開催
- ・昭和55年より春季秋季大会の各ベスト8の16チームで選抜大会開催
- ・昭和56年女子チームが12チームで発足

昭和57(1982)年～平成2(1990)年

- ・昭和57年に男子チームが73チームとなり全チームによるトーナメント方式では会場確保が難しくなり、前年度の成績を基にチームをA B C D 4クラスに分けたトーナメント方式に変更した。
- ・昭和62年 壮年大会(40歳以上の大会)開始
- ・平成2年 女子の大会はチーム数の減少で最後の大会となった。

平成3(1991)年～平成23(2011)年

- ・平成2年 15周年記念として全チームトーナメント方式で春季大会実施
秋季大会以降は春季大会および前年

の大会成績によりI部II部に分けてトーナメント方式に変更

- ・平成14年 埼玉県代表でゆずり葉チーム全国大会(壮年)出場
- ・平成16年 トーモクグラウンドを整備し、ソフトボールグラウンドとして使用開始
- ・平成17年 実年大会(50歳以上の大会)開始

平成24(2012)年～令和3(2021)年

- ・平成24年 I部II部III部制に変更、I部は年間を通じてのリーグ戦、II部III部は春秋に大会を分けてのトーナメント方式に変更
- ・平成23年、平成24年 埼玉県代表で中央ローハスチーム全国大会(壮年)に2年連続出場
- ・平成30年 シニア大会(60歳以上)開始

令和4(2022)年

- ・I部II部III部全て年間を通じてのリーグ戦に変更
- ・第74回全日本選手権女子ソフトボール大会関東地区予選開催

注) 壮年大会、実年大会およびシニア大会は登録チームの内、3チーム以内の混成チームでの出場可能

歴代会長

鳴海 育博	昭和52年～平成17年
池田 良夫	平成18年～平成27年
平松 秀雄	平成28年～

年度・大会別優勝チーム

年 度	チーム数 (下段女子)	春季大会	秋季大会	選抜大会	壮年大会	実年大会	シニア大会
昭和52	42		貝塚団地				
昭和53	54	貝塚団地A	久台ウルブB				
昭和54	64	蓮田ナイツ	宿上A				
昭和55	67	蓮田ナイツ	閩戸タイガース	椿山レッド			
昭和56 (1981)	65 12	大陸エンジェルス 女子・貝塚レディース	椿山第4 女子・ピンクスターズ	根金ダルマ 女子・蓮田バニーズ			
昭和57 (1982)	73 11	A・根金ダルマ B・関山ヘターズ C・椿山第4 D・蓮田サンダース 女子・バニーズ	A・蓮田ナイツ B・エンペラーズ C・蓮田サンダース D・閩戸センタース 女子・ビクマザース	蓮田ナイツ 女子・貝塚レディース			
昭和58 (1983)	71 10	A・UFO未広 B・根金ダルマ C・椿山レッド D・井沼エラーズ 女子・グリーンスターズ	A・蓮田ナイツ B・お林ソフト C・蓮田サンダース D・グリーンイーグルス 女子・ピンクスターズ	大陸エンジェルス 女子・ピンクスターズ			
昭和59 (1984)	71 9	A・椿山レッド B・井沼エラーズ C・グリーンイーグルス D・ゆずり葉 女子・ピンクスターズ	A・椿山レッド B・グリーンイーグルス C・スターズ D・駒崎ソフト 女子・ビクマザース	アヤセクラブ 女子・貝塚レディース			
昭和60 (1985)	71 7	A・大陸エンジェルス B・グランドランカーズ C・貝和田クラブ D・川島ライズ 女子・ピンクスターズ スローピッチ大会 西新宿ダンデーズ	A・椿山レッド B・根金ダルマ C・桑原チーム D・上平野カント北 女子・貝塚レディース	井沼ヤンガーズ 女子・貝塚レディース			
昭和61 (1986)	72 6	A・グリーンイーグルス B・大陸エンジェルス C・ガスターズ D・しらかば 女子・蓮田バニーズ スローピッチ大会 貝和田クラブ	A・蓮田ナイツ B・椿山レッド C・アローズ D・お林カタターズ 女子・貝塚レディース	蓮田ナイツ 女子・貝塚レディース			
昭和62 (1987)	63 6	A・椿山レッド B・平野ジャイアンツ C・御前橋クラウンズ D・ビューバレーライガース 女子・ピンクスターズ	A・蓮田ナイツ B・アヤセクラブ C・前原ソフト D・江ヶ崎ソフト 女子・ピンクスターズ	大陸エンジェルス 女子・ピンクスターズ	スターズ		



2020年秋季Ⅱ部優勝（貝和田ソフト）



2020年実年大会優勝（オール中央実年）

年 度	チーム数 (下段女子)	春季大会	秋季大会	選抜大会	壮年大会	実年大会	シニア大会
昭和63 (1988)	63 5	A・東光メッツ B・グリーンイーグルス C・お林カッターズ D・ゆずり葉	A・イーグルス B・アヤセクラブ C・ガスターズ D・お林カッターズ 女子・蓮田バニーズ	イーグルス	蓮田ナイツ		
平成1 (1989)	62 4	A・スターズ B・根金ダルマ C・ブラックスターズ D・前原ソフト 女子・ビックマザーズ	A・アヤセクラブ B・ブラックスターズ C・長崎オアシス D・らっきゅう会 女子・ビックマザーズ	アヤセクラブ	椿山第4		
平成2 (1990)	61 3	A・井沼ヤングース B・桑原 C・お林ソフト D・閩戸センターズ 女子・クイーンズクラブ	A・イーグルス B・しらかば C・貝和田ソフト D・笹山ソフト 女子・ピンクスターズ	根金ダルマ	根金ダルマ		
平成3 (1991)	60 1	15周年記念大会 大陸エンジェルス	I 部 蓮田ナイツ II 部 パワーズ	井沼ヤングース	スターズ		
平成4 (1992)	54	I 部 御前橋クラウンズ II 部 城ソフトクラブ	I 部 井沼ヤングース II 部 ゆずり葉	イーグルス	スターズ		
平成5 (1993)	56	I 部 イーグルス II 部 パワーズ	I 部 蓮田ナイツ II 部 貝和田ソフト	蓮田ナイツ	ゆずり葉		
平成6 (1994)	49	I 部 イーグルス II 部 レインボー	I 部 御前橋クラウンズ II 部 平野ジャイアンツ	イーグルス	スターズ		
平成7 (1995)	48	I 部 上平野カントリーズ II 部 大陸エンジェル	I 部 イーグルス II 部 前原ソフト	上平野カントリーズ	椿山レッド		
平成8 (1996)	47	20周年大会 イーグルス	I 部 イーグルス II 部 貝和田ソフト	UFO未広	ライガース		
平成9 (1997)	46	I 部 イーグルス II 部 井沼ヤングース	I 部 イーグルス II 部 井沼ヤングース	イーグルス	イーグルス		
平成10 (1998)	46	I 部 UFO未広 II 部 見沼ブロック	I 部 上町ジャイアンツ II 部 蓮田クラブ	前原ソフト	イーグルス		
平成11 (1999)	44	I 部 上町ジャイアンツ II 部 ライガース	I 部 UFO未広 II 部 みずほクラブ	イーグルス	根金ダルマ		
平成12 (2000)	45	I 部 イーグルス II 部 アヤセクラブ	I 部 イーグルス II 部 アヤセクラブ	UFO未広	椿山レッド		
平成13 (2001)	43	I 部 UFO未広 II 部 馬込第4ソフト	I 部 UFO未広 II 部 みずほクラブ	イーグルス	ゆずり葉		
平成14 (2002)	43	I 部 オアシスソフト II 部 蓮田ホーネッツ	I 部 大陸エンジェル II 部 蓮田クラブ	イーグルス	ゆずり葉		



2021年春季Ⅲ部優勝（椿山レッド）



2021年壮年優勝（ソールズ壮年）

年 度	チーム数 (下段女子)	春季大会	秋季大会	選抜大会	壮年大会	実年大会	シニア大会
平成15 (2003)	41	I部 椿山レッド II部 関山ツインズ	I部 馬込第4 II部 ライガース	イーグルス	ライガース		
平成16 (2004)	39	I部 ドランカーズ II部 閩戸センターズ	I部 オアシスソフト II部 平野ジャイアンツ	イーグルス 大陸エンジェルス	平野ジャイアンツ		
平成17 (2005)	36	I部 イーグルス II部 関山ツインズ	I部 イーグルス II部 スターズ	ブラクラウンズ	ドランカーズ	オール中央	
平成18 (2006)	37	I部 イーグルス II部 セイチャース	I部 イーグルス II部 セイチャース	ドランカーズ	椿山レッド	オール中央	
平成19 (2007)	35	I部 大陸エンジェル II部 関山ツインズ	I部 イーグルス II部 御前橋クラウンズ	ドランカーズ	中央ローハス	椿山レッド	
平成20 (2008)	36	I部 大陸エンジェル II部 御前橋クラウンズ	I部 アヤセファイターズ II部 蓮田ナイツ	アヤセファイターズ	中央ローハス	オール中央	
平成21 (2009)	35	I部 ドランカーズ II部 蓮田ナイツ	I部 ドランカーズ II部 ブルズ	イーグルス	中央ローハス	椿山レッド	
平成22 (2010)	35	I部 アヤセファイターズ II部 ライガース	I部 蓮田ナイツ II部 さんくらぶ	アヤセファイターズ	中央ローハス	オール中央	
平成23 (2011)	34	I部 武蔵 II部 関山ツインズ	I部 武蔵 II部 SOULS	アヤセファイターズ	ライガース	オール中央	
平成24 (2012)	34	I部リーグ イーグルス II部 ソウルズ III部 マックス	II部 ソウルズ III部 ライガース		上町ジャイアンツ	オール中央	
平成25 (2013)	32	I部リーグ 大陸ドランカーズ II部 関山ツインズ III部 蓮田ナイツ	II部 関山ツインズ III部 蓮田ナイツ		中央ローハス	武蔵	
平成26 (2014)	29	I部リーグ アヤセファイターズ II部 貝和田ソフトボール III部 城ソフトボール	II部 ゆずり葉 III部 椿山レッド		中央ローハス	オール中央	
平成27 (2015)	29	I部リーグ イーグルス II部 閩戸センターズ III部 椿山レッド	II部 閩戸センターズ III部 椿山レッド		中央ローハス	オール中央	
平成28 (2016)	27	I部リーグ イーグルス II部 関山ツインズ III部 上町ジャイアンツ	II部 ゆずり葉 III部 蓮田チャレンジャーズ		中央ローハス	オール中央	
平成29 (2017)	24	I部リーグ イーグルス II部 UFO未広 III部 インパルス	II部 UFO未広 III部 ブラックスターズ		UFO未広	オール中央	
平成30 (2018)	23	I部リーグ イーグルス II部 閩戸センターズ III部 御前橋クラウンズ	II部 ゆずり葉 III部 御前橋クラウンズ		UFO未広	オール中央	MYUL



2021年実年大会優勝（オール中央）



2021年秋季大会Ⅲ部優勝（貝塚ソフト）

年 度	チーム数 (下段女子)	春季大会	秋季大会	選抜大会	壮年大会	実年大会	シニア大会
平成31 (2019)	23	I 部リーグ 大陸ドラゴンズ II 部 関戸センターズ III 部 蓮田ナイツ	II 部 インパルス III 部 蓮田ナイツ		中央ローハスA	ブラクラ	MYUL
令和2 (2020)	23	I 部リーグ 武蔵 II・III 部 大会中止	II 部 貝和田ソフト III 部 ライガース		UFO未広	オール中央	中止
令和3 (2021)	21	I 部リーグ イーグルス II 部 関山ツインズ III 部 椿山レッド	II 部 プラストセンターズ III 部 貝塚ソフト		ソウルズ	オール中央	馬込・ゆずり葉 ・ライガース
令和4 (2022)	22	I 部リーグ イーグルス II 部リーグ ゆずり葉 III 部リーグ ライガース			ソウルズ 40s	オール中央 実年	レット クラウン



2022年 I 部優勝 (イーグルス)



2021年秋季大会 II 部優勝 (プラストセンターズ)



2021年シニア大会 (馬込・ゆずり葉・ライガース)



2022年度登録チーム一覧

	チーム名	監督	人員数
I部	イーグルス	斉藤 稔	28
	武蔵	長島 忍	18
	ソウルズ	小林 政年	36
	大陸ドラゴンズ	久保寺裕人	24
	UFO末広	福田 弘	31
	(5チーム)		137
II部	関山ツインズ	齋藤 裕史	17
	スターズ	豊田 卓治	15
	ゆずり葉	庵 一行	16
	ブラストセンターズ	斉藤 恒夫	20
	貝和田ソフトクラブ	清川 聡	25
	蓮田ナイツ	細井 清彦	18
	椿山レッド	吉沢 学	21
	貝塚ソフト	小林 謙二	16
	(8チーム)		148
III部	上町ジャイアンツ	橋本 清	25
	御前橋クラウンズ	楠 広和	31
	ブラックスターズ	徳 昌浩	18
	ライガース	谷浦 実	19
	馬込第三ソフト	福田 理也	19
	ミラクルソフトクラブ	中山 和夫	16
	ウエストキャッスルズ	中島 義人	21
	城ソフトボールクラブ	戸張 貴一	15
	(8チーム)		164
	21チーム		447

2022年度蓮田市ソフトボール協会役員

役職	氏名	所属
会長	平松 秀雄	貝和田ソフトクラブ
副会長 (競技部長)	加藤 博	ブラックスターズ
副会長 (総務部長)	豊田 卓治	スターズ
副会長 (事務・広報)	加藤 啓一	会長推薦
事務局 長	猪岐 道雄	イーグルス
審判部長	高橋 榮	会長推薦
記録部長	中島 康世	ウエストキャッスルズ
副審判部長	木下 優	会長推薦
副審判部長 (会計)	榎本 正雄	会長推薦
副記録部長	神谷 憲明	ゆずり葉
副記録部長	蔵田 信輔	会長推薦
副競技部長	高野 文雄	会長推薦
常任理事 (総務部)	渡井 義松	ブラストセンターズ
常任理事 (競技部)	吉沢 学	椿山レッド
常任理事 (競技部)	吉澤 睦大	上町ジャイアンツ
常任理事 (競技部)	佐藤 建次	UFO末広
常任理事 (事務局)	徳 昌浩	会長推薦
常任理事 (競技部)	谷浦 実	ライガース
(監事)	I部の優勝・準優勝チームの理事	



テニス協会

テニス協会の歩み・歴代会長

創立年月 1978年
加盟年数 44年

歴代会長

初代	三角 正和	1978 - 1991
2代	佐藤 忠久	1992
3代	大塚 叔克	1993 - 2005
4代	志村 立美	2006 - 2011
5代	佐藤 宏次	2012 - 2015
6代	大塚 功一	2016 - 2019
7代	大越 博美	2020 -

会長挨拶と活動内容



会長 大越 博美

2020年から蓮田市テニス協会会長を務めております大越博美です。

蓮田市のテニスを盛りあげ、テニス愛好者を増やすために大会を細分化して一般・壮年を分け、また混合を新しく取り入れました。

大会数も増やして、令和4年の春の大会は165組の269人が参加しました。

試合はトーナメントでは1回戦で負けてしまうと終わってしまうより、最低2試合出来るリーグ戦で行っています。また蓮田市以外からも参加出来るようにして、活性化を図りレベル向上に繋げております。

蓮田の登録クラブは7チームで県の登録数は190

人弱です。クラブの数をもっと増やし、団体戦やクラブ対抗などの楽しい大会も取り入れてテニス人口を増やしていきたいです。

コロナ禍で人を集めることが難しい状況ですが、テニスをする人に必要なルール講習会や新しく始める人のための教室やジュニア育成、体幹やストレッチの講習、テニスを行う人が受けて楽しかった、身についたと思われるイベントを行なえるような体制が課題です。その他には市の運動施設において、テニスコートが少ないこと、雨の影響を受けやすいクレーコートから人工芝への変更、着替える場所がないなどの問題点が解決されている事を願っています。コロナ禍で色々変更させられていますが、対応できる体制にしていきスポーツ人口がさらに増える、また住みよい街作りに貢献して行きます。

現在の役員名簿

会 長	大 越 博 美			
理 事 長	大 原 隆 志			
常 務 理 事	山 田 義 英	理 事	シャケ蓮田	和 田 由 子
	田 中 義 久		蓮 田 G T C	大 原 隆 志
	大 塚 功 一		I T C	大 塚 功 一
	和 田 由 子		日 容	高 崎 重 男
	藤 田 幹		ラケットC	星 川 佳 朗
	根 岸 幸 雄		M I T A	児 玉 俊 夫
	岡 田 育 宏		ハステニ(新)	福 田 崇

2022年活動予定

春季大会	壮年 男女	シングルス	4月3日	秋季大会	壮年 男女	シングルス	9月4日
		ダブルス	4月10日			ダブルス	9月25日
	一般 男女	シングルス	5月22日		一般 男女	シングルス	10月2日
		ダブルス	5月29日			ダブルス	10月9日
	混合	ダブルス	6月5日		混合	ダブルス	10月23日
100歳混合	ダブルス	100歳混合		ダブルス			
県大会予選会 (秋季大会)	男子女子	シングルス	7月3日	郡市対抗戦	蓮田市代表	団体戦	11月6日
		ダブルス		クラブ対抗戦	クラブ代表	団体戦	11月13日
				県大会予選会 (春秋季大会)	男子女子	シングルス	2月18日
						ダブルス	

クラブ紹介

- ①クラブ発足の経緯、特徴、メンバー構成、特徴、規模
- ②主な活動場所、活動周期、頻度
- ③入会方法、連絡先、会費等の条件（受付可能な場合）
- ④特に目立った、あるいはユニークな活動をしているメンバー
- ⑤クラブ代表者からのメッセージ（今後の活動目標、新規勧誘案内等）

ITC

- ① 昭和50年代に市のソフトテニス教室の受講者の有志が集まってテニスを続けるうち、ソフトテニスから当時ブームの硬式テニスに転向し、硬式テニスクラブとして発足しました。

当クラブは健康と親睦の維持及びテニス技術の向上を目指しています。クラブは、和気あいあいとテニスを楽しむことを本旨とし、クラブ発足以来約40年間、20～30人のメンバーで活動しています。

発足当時は30歳代のメンバーがほとんどでしたが、現在は、50～80歳代のメンバー構成です。

- ② 黒浜公園テニスコートと学校開放による蓮田松韻高校テニスコートを利用し、予約可能なすべての土・日・祝日に活動しています。
- ③ 見学、体験入会の後、クラブの趣旨に賛同いただける方はどなたでも正式入会いただけます。
年会費3,000円
- ④ メンバーには現役のテニスコーチもいます。
- ⑤ 当クラブは、男女を問わず和気あいあいとテニスを楽しむことを本旨とし、約40年間活動を続けてきました。体験入会は、男女を問わずいつでも歓迎します。

ラケット倶楽部



- ① ラケット倶楽部は蓮田市民・白岡市民を中心に十数名のメンバーです。
- ② 土曜日・日曜日・祝日の午後公営のコートで活動しています。
- ③ 体験・入会を受付けます。女性おひとり様も遠慮なくお問い合わせください。
主務 鍋島 電話 080-5198-0392
メール racketclub@gmail.com
- ⑤ モットーは「エンジョイテニス」
腕前はさておき、帰ってからのビールや美容・健康のために毎週爽やかな汗をかいています。



日容クラブ

- ① 日容クラブは昭和55年に会社（蓮田市根金にある会社）の福利厚生施設として、テニス同好者らが2面のクレークコート整備し、終業後練習が出来るように1面にナイター設備を設けて、練習を始めたのが会の発足。蓮田市の大会や実業団テニス大会に参加するために、クラブ名を「日本容器テニスクラブ」として発足当時のメンバーは社員のみ構成で人数も20名程度でした。
その後、63年に工場拡張の為テニスコートは閉鎖整地されました。
- ② 白岡総合運動公園のクレークコートや砂入り人工芝コートで主な活動場所としています。
練習日は毎週日曜日の午前中に行っています。
- ③ メンバー構成は発足当時とは違い、会社のOBやOBの友人、テニスを通じて知り合った人、テニス好きな（同好会的）人の集まりで初中級から中級の12人が会員で練習しています。
なぜか男性ばかりで女性がないのが寂しいです。入会に関して規約等はなく誰でも入会できます。会費はコート代ボール代を含めて毎月1,000円です。
練習参加・入会の連絡先
日容クラブ代表 高崎重男
TEL 090-2529-7603

シャケ

- ① より上手な人とテニスしたい。上手になりたい。そういう気持ちからメンバーを集めました。
『お互いに刺激しあって、上を目指そう。』
『みんなでうまくなろう。』
メンバー構成は20代～60代(30代～50代中心) 県外の人でも沢山所属しています。
- ② 第3木曜日／白岡総合運動公園
・ゲーム中心（6先ノーアド）
・1面につき5人が基本
月1回 日曜日／白岡総合運動公園
・固定ミックスダブルスの試合
月1回 木曜日／白岡総合運動公園
・固定ダブルスの試合
不定期／黒浜公園
・練習・ゲーム
不定期／白岡総合運動公園
・練習・ゲーム
不定期／白岡市民コート
・練習・ゲーム
- ③ 入会にはレベル制限があります。
連絡先 代表者 和田 syaketc@gmail.com
- ④ メンバーには現役コーチも多数います。
蓮田市オープンテニス大会では、優秀な成績を残しています。
- ⑤ 練習は男子ダブルス、女子ダブルス、ミックスダブルスをしています。試合で勝つ事を前提にしているため、5時間とっています。
固定試合は決勝までの5試合を想定して、6ペア総当たり戦でやっています。
試合はミックスダブルス中心ですが、対男子ダブルス、対女子ダブルスも受け付けています。
会員でなくても参加募集している時もありますので、宜しくお願い致します。

(令和4年春の蓮田市大会一般混合・壮年混合の入賞者)



蓮田グリーンテニスクラブ

- ① 蓮田市黒浜にある会員制テニスクラブです。クレーコート4面。砂入り人工芝コート3面、緑に囲まれたリゾート感覚なロケーションのテニスクラブです。テニススクールを併設し、レンタルコート、ビジター制度もあります。
- ② 定休日 火曜日 早朝からナイター利用可
- ③ 蓮田グリーンテニスクラブ
0120-840-923またはクラブホームページ (<https://hasuda-gtc.jp/>)
- ④ 会員の油井正幸さんは、長年埼玉県テニス協会理事長(現副理事長)として埼玉県のテニス発展ご尽力されてきました。
クラブホームページをご参照ください。
(<https://hasuda-gtc.jp/>)
- ⑤ すべてのテニスに興味のある方に御満足いただける施設を目指しています。
是非、一度お越しください。

MITA

代表 児玉 俊夫 会員数11名

ハステニ

- ① 2021年10月に4人程度でスタートしたばかりのテニスサークルです。テニスを始めて半年もたたないメンバーから、スクール中級程度の経験者、30代から70代の幅広いメンバーが楽しく笑顔でテニスを楽しむという趣旨で活動しています。現在メンバー数は20名弱、男女6：4という構成です。
- ② 活動場所は蓮田市黒浜公園と農業者トレーニングセンターです。毎週水曜日午前から正午くらいまで活動しています。毎月1回、日曜日にメンバーの家族やお子様と一緒にテニスを楽しむ会を開催しています。
- ③ 入会金や年会費は一切不要。
参加費は1回300円から500円です。
ハステニ代表 福田
080-6621-1218



学生時代にテニスをやっていた方、運動不足解消にテニス再開してみませんか?ご興味ある方はご連絡下さい。



バドミントン連盟



会長 野本 眞吾

蓮田市スポーツ協会50周年、誠におめでとうございます。

皆さん、TOKYOオリンピック2020を覚えているでしょうか？

実は、私は運よく観戦チケットが抽選に当たり、会場で応援できることを心待ちにしていたのですが、新

型コロナウイルス感染防止のため無観客開催となり、落胆しながらテレビ観戦をしました。バドミントン競技の日本代表は、前回のリオデジャネイロ大会の大活躍もあり大いに期待していたのですが、渡辺・東野の男女ペアの銅メダル1つという結果に終わりました。しかし、選手達は日の丸を背負い、世界の頂点で我々にはできない高度な技を駆使して戦っているのですから、不満や批判など言えません。でも… 少し寂しい想いをしたのは私だけでしょうか。

さて、バドミントンというスポーツを紹介しますと、ネットを挟んで互いにシャトル（羽根）を打ち合い、床に落ちたら1点取られ、21点で1ゲーム負け、2ゲーム取られると敗戦となります。

試合には、シングルス（1対1）とダブルス（2対2）があり、シングルスは1人でコート内を走り回るので非常に体力を使い、しかもコートに入るのは2人なので効率が悪く、学生や上級者の大会以外は殆んど市の町村大会はダブルスのみです。

そこで、ダブルスを簡単に説明しますと、試合はテニスと同じく、どちらがシャトルを打ってもかまいません。コートは長さ13.4m、幅6.1mで総面積82㎡ですが、2つに分けるので、自分達が攻守する



のは半分の41㎡、まあ畳25枚分くらいでしょうか。

ネットの高さは1.524mで、これは子供も同じなので小さなお子さんでは頭よりも高いんです。その中で、上級者なら時速300km以上の猛スピードでシャトルを打ってきます。これは、最近プロ野球で完全試合を達成した佐々木朗希投手のストレートの倍以上のスピード（ギネス記録では世界最速初速は493km）です。



これを瞬時に打ち返し、さらに同じ体勢から意表をつくドロップ（シャトルが空気抵抗で急激にネット際に落下する）を拾い、攻撃へと繋げていく2人の息の合ったプレーは、見ているだけで感動します。

まあ、眼も足腰も衰えてきた我々年配者には厳しい動きなので、それなりに対応しなければなりません…。

その反面、激しい動きと瞬発力を必要としますので、捻挫等の怪我もしやすく、競技者なら誰しも怪我に泣いた経験はあると思います。しかし、近年はラケットやシューズ等の改良も著しく、また怪我を防ぐ指導にも心がけていますので、怪我をするリスクはかなり軽減されています。



バドミントン連盟の推移

蓮田市バドミントン連盟は、昭和54年に初代谷口会長を中心に結成され、同年4月に蓮田市体育協会に加盟したと記憶されていますが、当時20代前半の私はバドミントン競技をしておらず、これらの諸先輩方の事は存じておりません。

しかし、バドミントンクラブの代表となり、縁あって連盟の会長に抜擢されると、これまでの43年間に歴代会長や副会長、そして役員の皆様が連盟発展への努力や改善を重ねて育ててきた事を痛感いたし

ております。

おかげさまで、現在はバドミントン連盟加盟8団体、200人を超える競技者の支援を受けて、役員11名で運営と活動を続けております。

この度、機会がありましたので感謝と敬意を込め、歴代会長と副会長名を記載いたしますが、氏名不明の方もおられますことから苗字のみとし、併せてページ数の関係から役員の方々と敬称は省略させていただきます。

昭和54年 連盟結成

会長・谷口 副会長・中野・川村

昭和56年 会長・副会長変更

会長・折井 副会長・小野・志潟

昭和57年 副会長変更

会長・折井 副会長・井上・松原

昭和58年 副会長変更

会長・折井 副会長・井上・高梨

昭和59年 副会長変更

会長・折井 副会長・山口・渡辺

昭和61年 副会長変更

会長・折井 副会長・谷中・矢島

平成元年 副会長変更

会長・折井 副会長・蔦沢・田口静江

平成2年 副会長変更

会長・折井 副会長・折尾・高橋

平成12年 会長・副会長変更及び追加

会長・井上

副会長・田口・井澤・三木（婦人部）

平成20年 会長・副会長変更

会長・田口

副会長・井澤・山口・三木（婦人部）

平成26年 婦人部消滅

会長・田口 副会長・井澤・山口

平成28年 副会長変更

会長・田口 副会長・井澤・野本

平成30年 会長・副会長変更

会長・野本 副会長・古谷・池田

令和4年 変更なし

現在の連盟役員

連盟役員は、加盟クラブの代表やクラブ所属の会員で構成されています。

そして、何をしているのかと言えば結構忙しく、クラブの活動はもとより市主催のイベントに分担して協力（裏方が多いです）していますし、連盟の各大会では会議を重ねて開催に邁進します。ですから『会長も能書きばかり言ってないで少しは仕事をしろ！』と叱られてばかりいます。



芹澤重幸・池田稔・古谷郁男・渡辺久夫・田口芳子・清野哲
野本豪・平のぞみ・会長 野本真吾・野本八千代・北潟公一

連盟加盟団体

現在、市内にはバドミントン愛好会や年配者専用サークル、そして女性のみ参加できるクラブなど十数の団体がありますが、その内の9団体が連盟に加盟しておりますので紹介します。

蓮田クラブ



代表・清野 哲

歴史は1番古く、市内有数の実力を誇っています。
日曜日の夕方、中央小学校の体育館で活動しています。

南クラブ



代表・野本 豪

昭和55年に結成され、長く活動していて会員数も多く、力のあるクラブです。

土曜日の夜、蓮田南小学校の体育館で活動しています。

平野クラブ



代表・大山 英生

歴史もあり、少数精鋭のクラブで、常にクラブ対抗戦で上位を保っています。

水曜日の夜、平野小学校の体育館で活動しています。

ラブ・オール



代表・池田 稔

比較的若いメンバーが多く、活発に活動しています。

土曜日の夜、黒浜北小学校の体育館で活動しています。

黒浜西クラブ



代表・渡辺 久夫

年配者が中心で、少数ですが楽しむクラブをモットーにしています。

土曜日の昼、黒浜西小学校の体育館で活動しています。

シャトルズ



代表・野本 八千代

年配者から若手まで幅広い会員がいて、実力も上級から初級まで多彩です。

月曜日の夜、黒浜北小学校の体育館で活動しています。

レインボーラケット



代表・平 のぞみ

新しいクラブですが向上心は高く、常に全力を合言葉にしています。

土曜日の夕方、黒浜北小学校の体育館で活動しています。

蓮ミントクラブ



代表・芹澤 重幸

連盟内で最も新しいクラブで、少数ですがヤル気は十分です。

金曜日の夜、黒浜小学校の体育館で活動しています。

スノードロップ

今年できたばかりの新しいクラブです。

練習日は、日曜日の夜、中央小学校体育館で活動しています。

連盟主催の大会

バドミントン連盟では、毎年7回の色々な趣向を凝らした大会を開催してきましたが、新型コロナウイルスの影響で令和元年度から全ての大会を中止し、練習会等で対応してきました。

しかし、令和4年になり徐々に感染者が減少傾向に転じてきたことから、感染防止に最大の注意を払いながら例年どおりの大会を開催すべく、役員の方々と計画をしています。



練習会の模様

①クラブ対抗戦（6月）

加盟しているクラブのプライドを掛けた大会です。

②オープンミックス大会（7月）

男女ペアの大会で、市外からも多数参加します。

③市民大会（9月）

市内在住在勤及び在学の方で、バドミントンを楽しむ方なら誰でも参加できます。

④蓮田オープン（10月）

蓮田市最大のバドミントン大会で、市内は元より広く関東以外からも参加します。



大会の開会式



大会の様様



⑤シニア大会（11月）

加盟クラブ内の、50才以上の男女が対象の大会で賞品がある楽しい大会。多くの方が参加します。

⑥クラブ交流戦（1月）

加盟クラブ員同士の交流を目指した大会で、年齢や経験に関係なく、他クラブの方々とチームを組みます。

⑦会長杯（2月）

加盟クラブに在籍していれば、男女の区別なく誰とでもペアを組め、予選を戦ってランク別に分けて試合をします。



クラブ交流戦の表彰式

ジュニアの活動

市内には、ジュニアクラブとしてサウス・シャトラーズ（井上代表）と、黒浜ジュニア（田口代表）の2つがあります。

サウス・シャトラーズの歴史は古く、その活躍は目覚ましいものがあって、県内はもとより広く関東圏にまで強敵として認知されています。

そして、子供たちの人数も現在は30名を超え、活発に練習する声が体育館に響いています。

また、黒浜ジュニアも歴史は浅いものの大会においては年々好成績を残しており、近い将来には大会で上位でまで進む選手が増えると期待しています。

人数は20人少々とすくなめですが元気に活動しています。

バドミントン連盟は、これらのジュニアクラブの応援をしています。



サウス・シャトラーズ



黒浜ジュニア

中学校と高校の活動

蓮田市内に5校ある中学校のうち、蓮田南中学校と黒浜中学校の2校にバドミントン部があり、蓮田南中学校バドミントン部は、全国大会に何度もいくほどの強豪校で、『蓮田市に南中あり!』と、その名を全国に知られています。

そして、部員の技術は高く、今年も全国大会に行けるものと思います。



黒浜中学校バドミントン部

さらに、県立蓮田松韻高校にもバドミントン部があり、部員数は部活の中では1番多くいます。

そして、バドミントン部は意気盛んで、地区大会はおろか、県大会でベスト16まで勝ち上がる実力を持っています。

これらの少年少女が、やがて蓮田市バドミントン連盟を支えていくものと期待しております。



蓮田南中学校バドミントン部

また、黒浜中学校バドミントン部も部員数が多く、地区大会を勝ち抜いて県大会に出場する選手も多数います。

今、部活は伸び盛りで、近隣の中学校を圧倒しており、今後の活躍が楽しみです。



蓮田松韻高校バドミントン部

その他の事業と活動

バドミントンは、初級者と上級者では非常に技術の差が大きいスポーツで、基本を知らなければ上達は遅く、またルールやマナーが細かいので初心者は途惑う事が多く、途中で諦めてしまう方がおります。



バドミントン連盟ゴルフ大会

そこで、バドミントン連盟としては数年おきにバドミントン教室（新型コロナのため休止中）を開き、初心者や初級者に基本的な動きとルールを覚えていただき、競技者の育成に努めています。

また、連盟の結束と親睦を兼ねてゴルフ大会やバーベキュー大会など、各種イベントも開催しています。



バドミントン教室の1コマ

今後の展望

バドミントンの競技人口は増加傾向にあるとはいえ、まだまだ多くのスポーツに比べて上位とは言えません。

しかし、天候に左右されない屋内スポーツであり、動きとルールさえ覚えれば年齢に関係なく、老若男女誰でも楽しめる生涯スポーツといえるでしょう。

蓮田市バドミントン連盟はこれらを踏まえ、ジュニアの育成と競技者の底上げの2本の柱を軸に『バドミントンの街、蓮田!』を目指し、安心・安全を心がけて各種イベントと大会を開催していきたいと思っております。

スキー連盟



会長 亘 宏邦

■ 創立	1983年(昭和58年)9月1日	■
スポーツ協会加盟	1984年5月17日(12番目の競技団体として加盟)	
歴代会長 真弓 隆	1983年9月～1994年10月	
関根幸男	1994年10月～2004年10月	
杉山英雄	2004年10月～2014年10月	
矢島悦夫	2014年10月～2018年10月	
■ 亘 宏邦	2018年10月～2022年10月現在	■

蓮田市スポーツ協会創立50周年おめでとうございます。

蓮田市スキー連盟は2023年度に創立40年を迎えるスキーとスノーボードのスノースポーツを楽しんでいる団体です。連盟創立と同時に蓮田市スポーツ協会(前体育協会)へ加盟しております。

連盟も創立し40年を迎えます。長いような短いようなこの40年を振り返りました。

創立は初代会長の真弓隆さんを中心に会員76名で発足しました。市連所属指導者の資格ゼロから始まり、10年目には指導者資格19名、テクニカルプライズ取得者2名となり、会員数も176名と順調に推移しました。その頃は行事も年7回行っており、10周年記念事業としてカナダツアーを行うなど活気あふれる10年間でした。

その後20年目まではバブル景気も弾けてスキー業界も縮小し、行事の参加者の減少によりバスツアーからマイカーでの利用となってまいりました。会員数も一時期は200名を超えましたが、20年には152名と減少傾向となりました。しかし、後半にはカービングスキーやスノーボードの出現により新たな楽しみ方が出てきた時期でもありました。

そして30年目まではちびっこスキーと熟年スキーを中心とした時期でもあり、スキーの全盛期を知っているシニア層がスキーを楽しみ、その子供たち孫たちに活気のある時期でもありました。会員数は131名とどうにか100名オーバーを維持している時期でした。

さて、40年目まではスキーでは前半少々活気がありませんでしたが、その時期中・高校生や大学生が活躍し、そのメンバーが技術選などで活躍するようになりました。またスノーボードでは前半に盛んになり技術選などで好成績も出ている時期となりました。埼玉県には受入れるところも少ないので蓮田市に加盟してくれる人も増えてきましたが、技術志向を個で楽しむ方が多く、連盟仲間の勢いで楽しく滑るということには定着が進みませんでした。しかし今で

はスノーボード指導員も増え、ちびっこスキーではボードの班も設けましたので今後に期待したいと思えます。

現在、会員数(2022年7月現在)は98名で100名を切ってしまいましたが、新たに加盟される方もおり、良い形で新陳代謝が図られていると感じます。

連盟にはスキー、スノーボードの公認指導者が34名おり、連盟行事での指導を担当し、安全で楽しい行事の実施にあたっています。

全日本スキー技術員1名も輩出しており、県連には理事、評議員を選出してもおり、教育本部へは役員3名輩出し副本部長、副委員長を担う者など多方面で活躍しております。

現在連盟では雪上行事を12月から4月までの間に、会員の他、一般の参加者も対象にしたものが4回、ジュニア対象としたものを3回実施しております。

一般行事にはスキーが好きなミドルエイジやシニアの方、子育てが一段落してスキー熱が再燃した方や親子でスキーをしたい方が集まります。そして個々の指向に合わせ楽しみ方を提案しております。各行事とも会員を中心としたスキーツアーですが一般の方の参加もお待ちしております。

「ちびっこスキー」行事は人気が高くコロナ禍前はキャンセル待ちとなることもありました。

また、指導者の資格取得を推進し毎年新たな資格者が育っています。強化としては「技術選手権大会」に出場する選手や「プライズテスト」受検者など技術の高みを目指す方のサポートをしております。スキー・スノーボード共に県予選を勝ち抜き、上位大会へ駒を進める選手も多く、若手・中堅の会員が活躍し着実に強化が進んでいると感じております。

そして毎年「級別テスト」を開催して継続した技術の向上やバッジの取得など上級指向への足掛かりを作っています。

今後も選手のサポートやジュニアの育成、楽しいスキー・スノーボードの支援等を多方面に充実して

まいりたいと考えております。

シーズンオフには、自転車愛好家が多数おり、その方々が集まってツーリングや遠征などを行っています。自転車活動からスキー連盟に加盟した方もいるくらいです。その他、週一回程度バドミントンやソフトバレーで汗を流しています。サマースキー（丸沼高原など）に行く方達もいて1年を通じて楽しく身体を動かして汗を流しています。

しかし、ここ2年はコロナ禍により活動の制限もあり厳しい状況でしたが、感染対策を万全にして徐々に再開しています。

連盟40周年の歴史としてウェアで見ると、赤黒白からバブル時代の派手なものからバブル後の地味な色合いに変化し、そして柄物、さわやかな淡いモノトーンなど色々変化が見えます。（写真参照）

最後に、蓮田市スキー連盟ホームページを開設し連盟紹介や行事案内を掲載していますので是非ご覧になってください。

*蓮田市スキー連盟HP

<https://hasuda-ski.sakura.ne.jp/wp/home/>

蓮田市スキー連盟 歴代ウェア

40周年を迎える蓮田市スキー連盟では、揃えたウェアも2023年度で14代目になります。それぞれの時代の流行をよく反映している歴代ウェアをご紹介します。



※14代目 2023～ 40周年記念



2022全日本技術選FR



13代目2020～ 会津たかつえ
さわやかなブルー柄



プロスキーヤーの講演会



12代目2018～ 箕輪 淡いグリーン柄



11代目2015～ 菅平 鮮やかオレンジカラー





10代目2013～ 苗場
マーブルチョコ的イメージ



9代目2011～ 尾瀬岩鞍
ブロック基調のウェア



8代目2009～ 尾瀬岩鞍
ピンク基調 ウェアの機能大進化



7代目2007～ 宝台樹
水色基調の薄い柄



6代目2005～ 苗場
ダークカラーの時代



5代目2002～ アルツ
上級指向憧れの赤黒



4代目1999～ 苗場
ブルーに黒ベスト 蓮田だけのオリジナル



3代目1996～ 尾瀬岩鞍
ジャパンモデル (黄色)



2代目1993～ 宝台樹
鮮やかピンクと銀色



岩岳で活躍選手



連盟初代ウエア1990～ 蔵王
ピンク デモパンが懐かしい



創立時(有志)1987～ 戸隠
準指導員を目指して赤で作成

蓮田市スキー連盟役員名簿 (2022・23年度)

役員

役職	氏名
会長	巨 宏 邦
副会長	岩 崎 修
副会長	高 橋 均
理事長	新 村 浩 幸
常任理事	石 井 伯 夫
常任理事	茅 野 俊 幸
常任理事	佐 藤 大 樹
会 計	小 山 和 男
会 計	小 林 美 穂
理 事	染 谷 智
理 事	古 澤 武 雅
理 事	佐 藤 恵 子
理 事	大 澤 時 男
監 事	松 永 幸 一
監 事	新 田 洋 一
相談役	本 橋 幸 夫
相談役	関 根 幸 男
顧 問	杉 山 英 雄
顧 問	矢 島 悦 夫

委員会名簿

委員会名	責任者	担 当 者
総務委員会	岩 崎 修	石井伯夫 小山和男 古澤武雅 小林美穂
指導・普及委員会	高 橋 均	茅野俊幸 佐藤大樹 大澤時男 染谷 智 佐藤恵子 小林美穂 *指導員 (スキー・スノーボード) 赤澤 由紀 阿部 賢一 阿部 春夫 猪谷 朋章 江田 善光 遠藤恵美子 大澤 時男 大島 純 川辺 直輝 小松原文則 小林 夏奈 佐藤 楓 佐藤 大樹 杉山 英雄 鈴木 芳伸 須田 春夫 関根 幸男 染谷 智 高井 知佳 高橋 均 塚本 正仁 津村 健史 中野 篤 新村 浩幸 茅野 俊幸 新田 洋一 古澤 雅俊 増田 茂樹 町井 孝行 松永 幸一 矢島 悦夫 米島久美子 巨 宏 邦
競技・強化委員会	新 村 浩 幸	佐藤大樹 染谷智 古澤武雅 佐藤恵子 (津村健史 宮沢宏文)



太極拳協会



会長 成田 能祥

創立年月 : 昭和63年 (1988年) 10月
 加盟年月 : 平成3年 (1991年) 5月
 歴代会長 : 初代会長 大和久 美代子
 2代会長 成田 能祥
 現在の役員 : 相談役 大和久 美代子
 会長 成田 能祥
 副会長 中畑 いづみ
 事務局 菅野 久美子、若松 容子、大熊 佐知子
 会計 花井 順子、松村 喜代子
 監事 成田 とよ、横田 和貴子

当協会加盟教室の代表者及び活動時間・場所

蓮田月曜会「福武 美意子」

月曜日19:00～ 蓮田中央小体育館

蓮田火曜会「岩崎 勝政」

火曜日19:00～ コミュニティーセンター

蓮田木曜会「大場 規行」

木曜日18:00～ 中央公民館関山分館

蓮田五拳会「鍋倉 美也子」

火曜日14:00～ 西新宿会館

蓮田土曜会「飯田 桂子」

土曜日13:30～ 蓮田中央小体育館

蓮田新木会「大岡 嘉子」

木曜日13:00～ 勤労青少年ホーム

蓮田さくら会「大野 泰史」

金曜日19:00～ 蓮田中央小体育館

蓮田拳友会「飛田 幸男」

火曜日13:00～ コミュニティーセンター

蓮田アイリス「倉持 裕子」

火曜日13:30～ 椿山自治会館

蓮田さつき会「大根田 知子」

水曜日10:00～ 緑町自治会館

蓮田優々会「成田 靖子」

火曜日10:00～ ハストピア

蓮田弥生会「森純 通」

土曜日 9:30～ 西新宿会館

蓮田桜花「遠藤 克己」

月曜日10:00～ 西新宿会館

蓮田あじさい「三浦 昭彦」

月曜日14:00～ 西新宿会館

蓮田萌え太極拳「藤森 淑子」

日曜日13:00～ 西新宿会館

蓮田レインボー「竹田 仁久」

水曜日13:00～ 黒浜西自治会館

蓮田春雲「中村 逸郎」

金曜日13:00～ 中央公民館関山分館

蓮田もくれん「新屋 晃市」

木曜日15:00～ 中央公民館関山分館



当協会の活動内容

蓮田市スポーツ協会（旧名称：蓮田市体育協会）
設立50周年おめでとうございます。

太極拳は中国古来の伝統武術ですが、日本に伝わってきたのが意外にも最近で、45年前の1977年（昭和52年）に当時の横浜市長の飛鳥田さんが中国のコーチを招聘したのが、日本における太極拳の始まりといわれています。

蓮田市における太極拳の取り組みは、日本における太極拳の広がりと同調するかのように1988年（昭和63年）大和久美代子初代会長が当協会を設立したときに始まります。

日本の中でも埼玉県は太極拳の盛んな地域ですが、その埼玉県の中でも蓮田市は太極拳の盛んな地域と言えらると思います。

現在の所属会員は、18教室165名です。人口比からすると競技人口は埼玉県内一番でしょう。

太極拳は武術でありますので、相手を倒すという一面もありますが、我々がやっている太極拳はあくまでも自身の内面を鍛えるため、健康のための太極拳です。

東洋医学的にも認知され、免疫力を高め年齢に関係なく楽しめる「生涯スポーツ」としてますます注目を集めていくことでしょう。

蓮田市太極拳協会は、各教室での活動のほかに市内の交流大会が年2回、埼玉県内の交流大会が年2回の合計年4回の交流大会に積極的に参加して優秀な成績を収めています。

これからも蓮田市スポーツ協会と共に、太極拳愛好家は勿論のこと蓮田市民の健康増進に向けて尽力して参りたいと存じます。



蓮田合気会



ご挨拶



会長 田中嶋 暢久

蓮田市スポーツ協会創立50周年おめでとうございます。蓮田合気会の代表を務めさせていただきます田中嶋です。

皆さん、合気道ってご存知ですか？合気道は開祖 植芝盛平翁が創始した現代武道で、相手といたずらに強弱を競いません。入身と転換の体捌きと呼吸力から生まれる技によって、お互いに切磋琢磨し合って稽古を積み重ね、心身の鍛錬を図ることを目的としています。

合気道は他人と優劣を競うことをしないため、試合や競技がありません。『何となくわかったけど、結局、よくわからないなあ』皆さん、そう思われていると思います。合気道は、老若男女を問わず、誰にでもできる、自分の心身を鍛えることのできる武道です。

このコロナ禍、思うような稽古ができませんが、通常は水曜日、金曜日、日曜日にパルシーにて稽古を行っています。特に金曜日には、合気道本部道場から師範を招き、ご指導をいただいておりますので、ちょっとでも興味のある方は、ぜひ、蓮田合気会の門戸を叩いてください。

皆さんのお越しを心からお待ちしております。

蓮田合気会について

当会は、平成6年（1994年）10月、故・萩谷福太郎先生（指導者兼会長・合気道六段）により、「蓮田合気会」と称して創設されました。

その後、平成15年（2003年）1月より公益財団法人合気会 本部道場指導部の佐々木貞樹師範に指導を仰いでいます。

平成15年（2003年）3月、萩谷先生没後、高松正勝氏（前会長）が会長を引き継ぎ、平成25年（2013年）4月に公益財団法人合気会の公認道場として認可をいただき、平成26年（2014年）9月には創立20周年を迎え、記念稽古を開催することができました。



役員体制について

指導者	公益財団法人合気会 本部道場指導部 佐々木 貞樹 師範
会長	田中嶋 (2021年4月より)
副会長	奥富、津田、関
事務総長	奥野木
会計	板垣、渡辺
庶務	加藤、成塚
広報	竹腰
会計監査兼相談役	菅野



歴代会長

萩谷 福太郎
高松 正勝
田中嶋 暢久



蓮田合気会年間スケジュール

月	行事
4月	県連理事会
	合気神社大祭
5月	蓮田合気会総会
	全日本合気道演武大会 (日本武道館)
6月	県連定期総会
7月	県連合同講習会
	全日本合気道錬成大会 (少年・少女)
	審査会・直会
8月	合同稽古
9月	合気道フェスティバル (教室)
12月	蓮田合気会忘年会
	蓮田合気会稽古納め
1月	蓮田合気会稽古始め
	合気道新年賀詞交換会 (本部)
2月	審査会・直会



入会ご案内

蓮田合気会では、随時会員を募集しています。

合気道に興味のある方、武道を習いたい方、健康のために身体を動かしたい方、新しいことにチャレンジしてみたい方、また、お子さんの健やかな心身の育成をお考えの方…動機は何でも構いません！蓮田合気会では、老若男女を問わず、会員の間がととても仲が良く、お互いを尊重しながら、いつも伸び伸びと稽古しています。

合気道というと、とてもハードルの高い印象をお持ちの方も多いと思いますが、はじめてみると、まったくそんなことはありません！体力に自信のない方でも、ご自身のペースで無理なく稽古を進めることができますので、ご安心ください。

ご入会は、いつでも受け付けておりますので、まずは稽古日に、一度、見学にお越しください。そして、道場にいる誰にでも結構です。入会のご相談、見学、体験教室、そのほか何でも気軽に話しかけてみてください。



稽古場所

蓮田市総合体育館 パルシー 2階・武道場
〒349-0133 埼玉県蓮田市大字関戸2343



稽古日／時間

日曜日	9:30～11:30 (延長時は12:30まで)
水曜日	19:30～21:30
金曜日	19:30～21:30

※現在は新型コロナの影響により、週一回（日曜日）のみの稽古とさせて頂いています。



費用

入会金	3,000円
月会費	[大人] 3,000円 [子供] 2,000円
スポーツ保険 (年間)	[大人] 1,850円 [子供] 800円

※家族割引がありますので、お気軽にご相談ください。



陸上競技協会

創 立 2001年（平成13年）4月

元々優秀な陸上競技選手を輩出してきた蓮田市に、更なる陸上競技の普及と発展を目指し、2000年から準備委員会を開催し、準備を進めてきました。幸い地元ジュニア指導者や中学校・高等学校の先生方を含め多くのメンバーが集まっていたいただき、設立に至りました。

加 盟 2006年（平成18年）5月

歴代会長 初代 齋藤 幸
2001年4月～2021年3月
第2代 菅原 和浩
2021年4月～

ごあいさつ



会長 菅原 和浩

蓮田市陸上競技協会です。蓮田市の歴史から見れば、まだまだ新しい団体ですが、よろしく願います。陸上競技はすべてのスポーツの基本になるものですし、競技の継続には、強い精神力が必要とされます。小学生低学年のゴール

デンエイジの時代から陸上競技に触れ、楽しみ、成長を喜べる活動をしていただきたいと考え、市内の陸上競技振興につとめています。スポーツは選手が喜びを味わうためのものと考え、その環境やチャンスを得てもらえるような活動をしています。平成13年度から現在の活動に至るまでの過程を含め、紹介させていただきます。

活動内容

活動内容としては、

1. 蓮田市の実施するスポーツ事業に協力していくこと
 2. 本会主催の公認競技会を開催していくこと
 3. ジュニア競技者の育成を進めていくこと
- です。

<ジュニア競技者の育成>

まず取り組んできたのは、「3. ジュニア競技者の育成をすすめること」です。既に活動していた「蓮田ジュニア陸上クラブ」の活動をスムーズにしていくために、会場の確保や陸上教室の開催に取り組んできました。その甲斐もあって、市内の小中学校の協力を得ながら、平成15年（2003年）3月には、大阪万博記念公園で開催された「全国小学生クロスカントリーリレー大会」に埼玉県代表として出場することができ、47都道府県中27位の成績を残すことができました。

ジュニアクラブは継続した活動を続け、「全国小学

生陸上競技大会埼玉県予選」で、何度も入賞することができ、「全国小学生陸上競技大会」に、出場を果たしてきました。



全国ジュニアクロスカントリー大会 出場記念 平成15年3月23日 大阪万博記念公園





ジュニアクラブ の活動



<公認競技会の開催>

続いて取り組んできたのは、本協会主催の記録会を開催していくことです。平成16年に白岡運動公園で本協会主催の記録会を開催しました。初めての取り組みで、うまくいかない部分もありましたが、翌年以降も開催していくことで、改善を加えながら、蓮田市体育協会（現蓮田市スポーツ協会）に加盟した平成18年（2006年）には「第1回蓮田市選手権大会」を開催することができました。まだ日本陸上競技連盟の公認競技会ではありませんが、市選手権を開催できたことは、蓮田市体育協会加盟とあわせて、大きなステップになりました。

◇蓮田市選手権大会

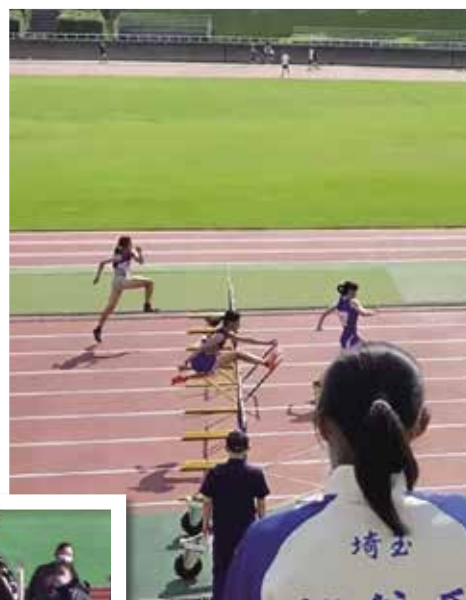
蓮田市選手権大会は、平成18年白岡運動公園での開催以来、規模を拡大していき、平成21年には公認競技場である上尾運動公園陸上競技場で開催し、同時に小学生の記録会を開催するまでになりました。平成30年（2018年）からは開催時期を秋に移し、公認競技会として開催することが出来、現在に至っています。



◇長距離記録会（10月、11月）

平成21年（2009年）からは、秋にも長距離中心の公認記録会を開催し、4月のしらこぼと記録会とあわせて、年2回の公認競技会を開催運営してきました。

晩秋の開催であったことから中心種目は長距離ですが、棒高跳などいくつかのフィールド種目も開催していました。徐々に開催時期を早めていき、現在は10月下旬に開催していますので、短距離種目も開催できるようになり、現在では「**蓮田市選手権**」を



◇しらこぼと記録会（4月）

平成19年（2007年）には、ついに本協会主催・日本陸上競技連盟公認記録会の開催にこぎつけました。越谷市しらこぼと運動公園競技場での開催です。これ以来、毎年公認競技会を開催し、多くの陸上競技者の参加をいただいています。特に小学生・中学生といった成長過程の選手の種目を設定して、陸上競技の裾野を広げる活動の一つになっています。また、一流競技者を招いて、選手との交流をいただいていたこともありました。毎年開催を続けることで、陸上競技の振興に努めています。

同時開催しています。

選手権種目は男女共の100m、400m、走幅跳、棒高跳、走高跳、砲丸投、やり投を開催しています。これ以外にも、小中学生の記録会種目を実施しています。



◇夏季記録会（7月）

平成30年（2018年）7月下旬に上尾運動公園陸上競技場で、蓮田市近隣小中学生を中心にした記録会を開催しました。令和3年からは公認競技会として開催し、大会も「夏季記録会」として、多くの選手が参加されています。これで、年に3回の公認競技会を開催することになりました。



<スポーツ事業への協力>

◇蓮田マラソンへの運営協力

2012年からスタートした蓮田マラソン。主催団体である蓮田ランタイズさんと連携を取りながら、

運営に協力をしてきました。蓮田市で開催される陸上競技イベントとして定着してきましたが、今後も協力をしていきたいと考えています。

現在の役員 敬称略

顧問		齋藤 宰
会長		菅原 和浩
副会長		高橋 正次
副会長		木村 正義
幹事長	大会運営・広報担当	細谷 俊
幹事	ジュニアクラブ担当	近藤 純枝
幹事	シニアクラブ担当	吉川 彦
幹事	シニアクラブ担当	栗倉 孝久
幹事	シニアクラブ担当・会計担当	大表 良徳
幹事	会計担当	横尾 健一
幹事	大会運営担当	児玉 隆弘
幹事	大会運営担当・監査	碓井 崇
監査		竹林 英一

今 後

蓮田市陸上競技協会には、小学生中心のクラブである「ジュニアクラブ」と市内中学の陸上競技部員が参加している「シニアクラブ」があります。本会会員の皆さんの協力によってここまで活動を拡大・成功することができました。

今後については、地域スポーツクラブとしての役

割を担えるような組織づくりに取り組んでいきたいと考えています。特に中学校・高等学校の運動部活動の地域移行にも対応していき、スポーツを楽しむ環境を作っていく予定です。協力いただける方は、ぜひ参加していただき一緒に活動してください。お待ちしております。

バスケットボール連盟



会長 戸田 祥史



現在の役員

会長	戸田 祥史
副会長	原口 元太
幹事	戸田 利恵、榎本 太郎
	神野 達紀
監査	神 直和

蓮田市バスケットボール連盟は2002年、有志2人によって設立されました。

当初は、市町村では珍しくミニバスチームが無い状態で、バスケットボールという競技が蓮田市には浸透していませんでした。それでも中学校の部活動は活発で県大会出場などを繰り返し、部員の数も非常に多かったと思います。

そのような中で、しっかりとした基盤を作り、バスケットボールの土台作りをすることを目的として活動を始めました。

活動といっても、何をしたら良いのかも分からず、とにかくバスケットボールを知ってもらいたいと10年構想をかかげ、10年後にプロのバスケットボールの試合を誘致することを目標に一歩ずつ進んでまいりました。

その一つに、バスケットボールクリニック（教室）「Kicky BasketBall Clinic」（以下、KBBC）の開催があります。「Kicky」とは「わくわくする」という意味が込められており、わくわくするようなバスケットをしてもらいたいという思いから、KBBCを立ち上げました。

プロフェッショナルな技術を提供するというコンセプトのもと、講師は『元プロ選手』を招聘しています。

立ち上げた当初は、10名程度だったKBBCも2022年には50名を超え、多くの子供たちが元プロ選手から技術を学んでいます。

また、近年では3人制バスケットボールの人気もあり、連盟としても3人制バスケットボールにも力を入れ始めました。

3人制プロチームであるSAITAMA WILD BEARS と連携し、U12女子向けバスケットボールスクールなども立ち上げました。

3人制のバスケットボールスクールを立ち上げた事で、5人制とは違った目線でバスケットボールを楽しんでもらえるかと思っています。まさに「Kicky（わくわく）」です。

バスケットボール連盟は、これからも市民の皆様が「わくわく」するような活動を行ってまいりたいと思います。



軌 跡

- 2012年 総会にてバスケットボール連盟立ち上げ承認
- 2014年 埼玉初のバスケットボールイベント「Basketball birthday CLASSIC in SAITAMA」開催
- 2015年 県民総合体育大会出場 準優勝
- 2015年 小学生向けバスケットボールクリニック（教室）開講
- 2016年 中学生向けバスケットボールクリニック（教室）開講
- 2016年 3人制バスケットボール 3×3大会開催
- 2017年 5人制バスケットボール 連盟杯開催
- 2017年 Bリーグチームによるバスケットボールクリニック初開催
- 2022年 3人制プロバスケットボールチームと提携
U12女子スクール開講
- 2022年 市制50周年記念バスケットボールイベント開催



市制50周年記念イベント集合写真



連盟役員集合写真



市制50周年記念イベントの様子



Bリーグチームによるバスケットボールクリニック集合写真



Bリーグチームによるバスケットボールクリニックの様子



中学校体育連盟



支部長 安田 修一

蓮田市中学校体育連盟（蓮田市中体連）は、蓮田市における中学校体育の健全な振興を図る事を目的とした事業を行っている。昭和58年4月1日から現在の規約が施行されて約50年となる。

現在、市内中学校5校の管理職及び体育教員を中心

に事務局の組織運営が行われている。主な活動としては、埼玉県中学校体育連盟（県中体連）と連携を図り、体育授業における教員の指導力向上を目指した取組、日本中学校体育連盟（日本中体連）及び県中体連が主催する各種大会への出場校を決定する予選会の実施がある。



事務局の構成

会長1名 副会長4名 理事長1名 理事4名
事務局長1名 監事2名 広報1名 会計1名

※会長及び副会長は市内中学校長が担当する。

※その他、各校の部活動顧問によって競技ごとに専門部会が組織されている。各専門部会は専門委員長が中心となって運営を行っている。

埼玉県（蓮田市）中学校体育連盟旗

埼玉のシンボルマークである「勾玉」をモチーフに、スピード感と躍動感をテーマとして、埼玉の「S」スポーツの「S」スピードの「S」などの「S」をデザイン化し、Saitama Junior Physical culture Associationの頭文字を図案化している。蓮田市中体連旗も同様のデザインを採用している。

主な活動内容

- (1) 県中体連との連絡連携
- (2) 予選会の開催（県大会等出場チームの決定）
- (3) その他、本会の目的達成のために必要な事業

主な事業

- (1) 体育授業研究協議会（埼玉地区で実施）

埼玉地区の各市町が持ち回りで、毎年、体育の授業研究協議会を実施している。教員の指導力向上に向けて埼玉地区内の各校から体育担当教員が集まり、授業を参観してテーマに沿った協議を行っている。令和4年度は蓮田市で研究授業を実施した。

- (2) 保健体育研究協議会（埼玉地区及び埼玉県で実施）

埼玉地区内の中学校が持ち回りで、毎年、体育授業に関する研究発表を行っている。優れた授業実践の情報を共有して質の高い授業づくりに向けて、埼玉地区で研究発表会を行った後に代表校の研究を全県の研究発表会で発表している。

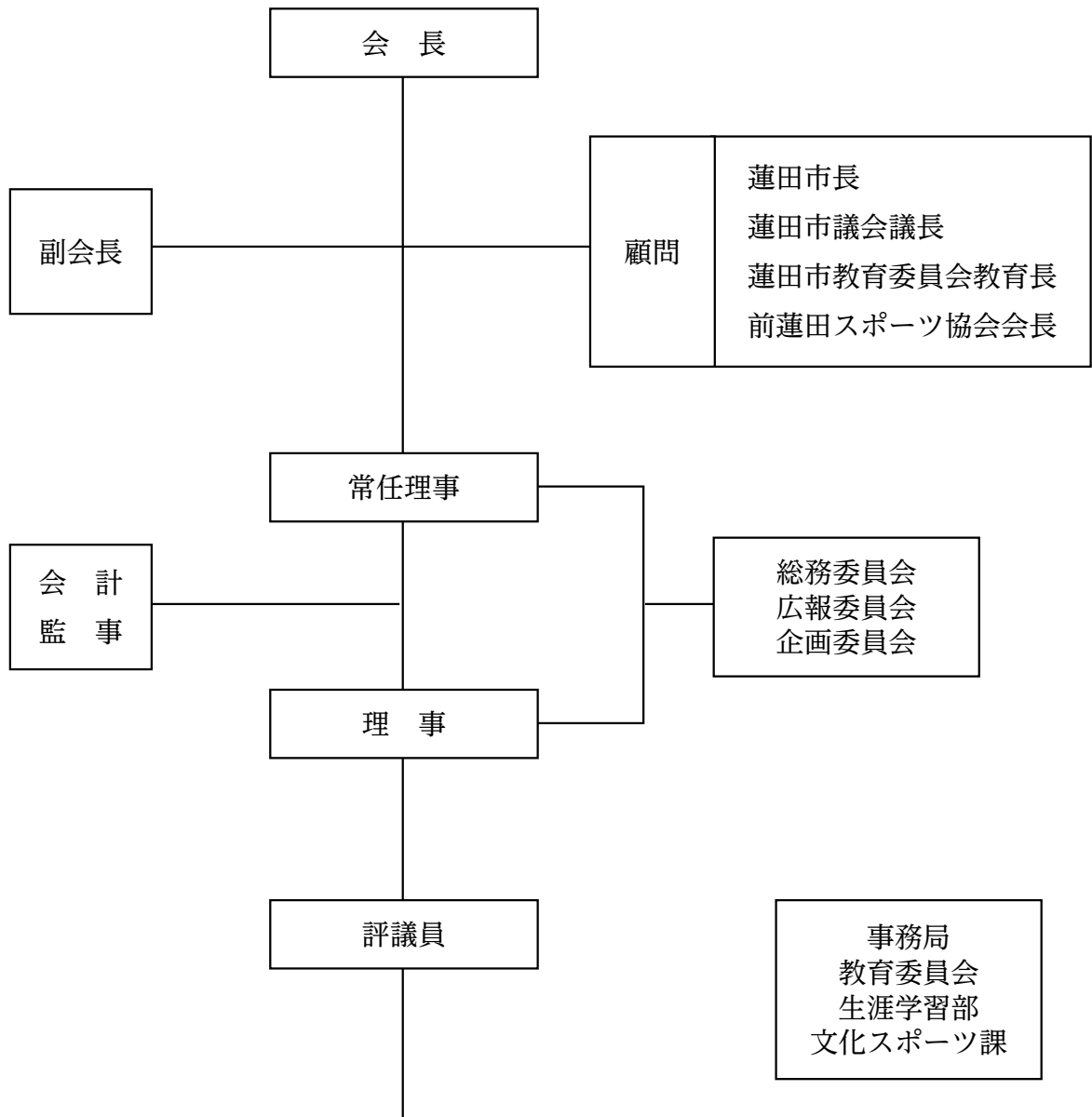
- (3) 中体連主催の各競技予選会の企画・運営

日本中体連及び県中体連主催の各種大会の出場校を決定する予選会を企画運営している。現在は、蓮田市単独で予選会を実施する競技は少なく、多くは蓮田市、白岡市、南埼玉郡宮代町、杉戸町で四地区大会を開催している。



- ア 四地区大会を実施している競技
野球、バスケットボール、バレーボール、ソフトテニス、サッカー、卓球
- イ その他の枠組みで実施している競技
陸上競技（蓮田市、白岡市、南埼玉郡宮代町、久喜市で合同予選会を実施）
駅伝（蓮田市、白岡市、南埼玉郡宮代町、久喜市で合同予選会を実施）
バドミントン（埼玉北部予選）
ハンドボール（春日部・蓮田予選）
柔道（埼玉北部予選）
水泳競技（市内標準記録突破会を実施）
※その他、所属校にない部活動についても中学校体育連盟の大会に参加可能である。
（硬式テニスや体操、新体操など）

蓮田市スポーツ協会組織図



加 盟 団 体	
ソフトテニス連盟	剣道連盟
ソフトボール協会	空手道連盟
柔道会	スキー連盟
野球連盟	太極拳協会
卓球連盟	蓮田合気会
バレーボール連盟	陸上競技協会
サッカー協会	バスケットボール連盟
バドミントン連盟	中学校体育連盟
テニス協会	

蓮田市スポーツ協会常任理事

令和4・5年度

役 職	氏 名	所 属
会 長	庄 山 勝 義	ソフトテニス連盟
副 会 長	齋 藤 昌 司	バレーボール連盟
〃	平 松 秀 雄	ソフトボール協会
	山 口 恒 雄	柔 道 会
常 任 理 事	荒 井 健 二	野 球 連 盟
〃	岩 崎 俊 一	卓 球 連 盟
〃	森 田 利 雄	バレーボール連盟
〃	中 野 政 廣	サ ッ カ ー 協 会
〃	野 本 眞 吾	バドミントン連盟
〃	大 越 博 美	テ ニ ス 協 会
〃	下 川 龍 二	剣 道 連 盟
〃	塩 野 谷 功 一	空 手 道 連 盟
〃	亘 宏 邦	ス キ ー 連 盟
〃	成 田 能 祥	太 極 拳 協 会
〃	田 中 嶋 暢 久	蓮 田 合 気 会
〃	菅 原 和 浩	陸 上 競 技 協 会
〃	戸 田 祥 史	バスケットボール連盟
〃	安 田 修 一	中 学 校 体 育 連 盟



蓮田市スポーツ協会規約

(名称)

第1条 本会は、蓮田市スポーツ協会と称する。

(事務局)

第2条 本会は、教育委員会に事務局を置く。

(目的)

第3条 本会は、蓮田市のスポーツ団体を統轄し、これを代表するもので、これらの団体と連絡調整を図り健全なスポーツの普及発展に努め、スポーツの活性化を促進することを目的とする。

(事業)

第4条 本会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) スポーツの宣伝、指導及び奨励
- (2) スポーツ団体の連絡、指導並びに助成
- (3) 各種スポーツ大会、講習会
- (4) スポーツ指導者の養成
- (5) スポーツ功労者、優秀選手、団体の表彰
- (6) その他本会の目的達成に必要な事項

(組織)

第5条 本会は、市内で結成され、種目別に構成されたアマチュアのスポーツ団体をもって組織する。

2 加盟団体は本会の事業に協力しなければならない。

(加盟・脱会)

第6条 本会に加盟を希望する団体は、加盟申請書を提出しなければならない。

2 脱会しようとする団体は会長に脱会届を提出しなければならない。

3 加盟、脱会の承認は総会において決定する。

(役員)

第7条 本会に次の役員を置く。

- | | |
|----------|-----|
| (1) 会長 | 1 名 |
| (2) 副会長 | 若干名 |
| (3) 常任理事 | 若干名 |
| (4) 理事 | 若干名 |
| (5) 会計 | 2 名 |
| (6) 監事 | 2 名 |

(役員を選出)

第8条 本会の役員選出等は、次のとおりとする。

(1) 会長及び副会長、監事は、総会で選出する。

-
- (2) 理事は、加盟団体で2名を選出する。ただし、そのうち1名を常任理事とする。
 - (3) 常任理事は、加盟団体の長をもってこれに充てる。
 - (4) 会計は、常任理事会で互選する。
 - (5) 顧問は、総会の承認を経て会長が委嘱する。

(役員の仕事)

第9条 役員の仕事は、次のとおりとする。

- (1) 会長は、本会を代表し、会務を統括する。
- (2) 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときはこれに代わる。
- (3) 常任理事は、常任理事会を組織し、重要な事項を協議決定する。
- (4) 理事は、常任理事とともに理事会を組織し、事業の遂行にあたる。
- (5) 会計は、本会の総ての会計事務を処理する。
- (6) 監事は、会計を監査する。

(役員の仕事)

第10条 役員の仕事は、次のとおりとする。

- (1) 任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。
- (2) 補欠による役員の仕事は、前任者の残任期間とする。

(会 議)

第11条 本会の会議は、次のとおりとする。

- (1) 総 会
- (2) 常任理事会
- (3) 理 事 会

(総 会)

第12条 総会は、本会の最高決議機関であって役員及び評議員をもって構成する。

- 2 総会は、毎年1回開催し、次の事項を審議し、承認する。
 - (1) 本会の全体計画、方針
 - (2) 本会の年間予算、決算
 - (3) その他重要事項
- 3 評議員は各加盟団体より1名とする。
- 4 臨時総会は常任理事会の決議により開催することができる。

(常任理事会・理事会)

第13条 常任理事会及び理事会は、必要あるとき開催し、本規約で規定した事項を審議遂行する。

(議 長)

第14条 会議は、会長が招集し、その議長となる。

(会議の成立)

第15条 会議は、構成員の3分の2以上によって成立する。ただし、構成員は委任状をもって

出席にかえることができる。

(議 決)

第16条 会議は、出席者の過半数の賛成をもって決し、可否同数のときは、議長がこれを決定する。

(専門委員会)

第17条 本会の事業を遂行するため、会長は必要に応じ各種の専門委員をおくことができる。

(会 計)

第18条 本会の経費は、負担金及び会費、補助金、寄付金、その他の収入をもってこれに充てる。

(会計年度)

第19条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日までとする。

(負担金)

第20条 本会の負担金は年額とし、その額は常任理事会で決定する。

(負担金の返還)

第21条 納入した負担金は、理由の如何を問わず返還しない。

(細 則)

第22条 本規約執行上必要な細則は、常任理事会に諮り会長が定める。

(改 正)

第23条 本規約の改正は、総会において出席者の過半数の賛成を必要とする。

附 則

- 1 本規約は、昭和53年5月12日より施行する。
- 2 昭和47年10月1日施行の規約は、廃止する。
- 3 本規約は、昭和57年5月28日より施行する。
- 4 昭和57年5月28日施行の規約は、廃止する。
- 5 本規約は、昭和59年5月17日より施行する。
- 6 本規約は、平成8年5月19日より施行する。
- 7 本規約は、平成18年5月13日より施行する。
- 8 本規約は、令和3年4月1日より施行する。
- 9 本規約は、令和3年6月28日より施行する。

蓮田市スポーツ協会表彰規程

(目的)

第1条 本会は、蓮田市(以下「市」という。)の体育及びスポーツの振興に貢献し、その功績顕著なもの及びスポーツ界で優秀な成績をおさめたものを永く顕彰するため、本規程により蓮田市スポーツ協会が表彰する。

(スポーツ賞の種類)

第2条 本会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- 1 功労賞
- 2 優秀選手賞
- 3 奨励賞

(組織)

第3条 次の各号に該当するもので市内在住、在勤者を原則とする。

ただし、その他特例として表彰を受けたい者(優秀選手賞を除く)については常任理事会で決定する。

1 功労賞

次の各号のいずれかに該当するもので、未だ表彰を受けてないもの。

- ア 市の体育及びスポーツの振興に著しく功績のあったもの。
- イ 市にあって多年体育及びスポーツの指導に精励し、著しく功績があり、他の模範であるもの。
- ウ 連盟等創立に創立者等として著しく功績のあったもの。

2 優秀選手賞

一般運動選手(又はチーム)で特に優秀な技術を発揮して他の模範と認められるもので選考は次の基準とする。

- ア 全国大会出場者、関東大会等出場者、県大会3位以上に入賞したもの。
- イ 国際大会、国際試合に参加したもの。
- ウ 日本記録を更新したもの。(日本タイ記録含む)

3 奨励賞

ア 各加盟団体の発展に寄与し、他の模範である者で各団体推薦は3名以内とする。

(受賞者の推薦)

第4条 3条に該当するものがあるときは、加盟団体長及び常任理事が、次の事項を記載し、スポーツ協会長に推薦するものとする。

- 1 氏名
- 2 生年月日
- 3 住所
- 4 職業
- 5 所属団体
- 6 業績
- 7 推薦理由
- 8 その他

(受賞者の選考)

第5条 4条により推薦されたものについて、選考委員会において選考し、常任理事会で決定する。選考委員は会長が委嘱する。

(表彰の時期)

第6条 表彰は総会時に行うものとする。

附 則

- 1 本規程は、昭和56年6月23日から施行する。
- 2 本規程は、昭和59年5月17日から施行する。
- 3 本規程は、平成7年5月21日から施行する。
- 4 本規程は、平成19年3月29日から施行する。
- 5 本規程は、令和3年6月28日から施行する。

(細 則)

第1条 表彰に係わる細則は次のとおりとする。

(1) 個人表彰に係る賞状・記念品は、次のとおりとし、このほか賞状1枚を授与する。

1 功労賞

賞状並びに記念品 (5,000円相当)

2 優秀選手賞

賞状並びに記念品 (1,500円相当)

3 奨励賞

賞状並びに記念品 (2,500円相当)

(2) なお、団体の表彰者には、賞状1枚、額1つを授与する。

(3) その他必要により会長並びに選考委員が決定する。

1 この細則は、平成24年6月8日より施行する。

編集後記

蓮田市スポーツ協会が創立50周年を迎えるにあたり、記念行事の一つとして記念誌を発刊することになりました。スポーツ協会各団体の中から代表委員をお願いし、蓮田市スポーツ協会創立50周年記念誌委員会を発足しました。記念誌の発刊は、10周年記念誌以来40年振りとなり、数回の打合せを経て編集作業に取り掛かりました。40年間の歴史には多くの資料の調査と先輩方への聞き取りを進めながら、事務局の粘り強い作業のおかげで発刊することができました。

各団体の状況としては、昭和50年代をピークに構成人員は減少しており、役員を含め高齢化も進んでいます。身体と心の健康を維持するためにも多くの人にスポーツを楽しんでもらう必要性を感じています。

発刊にあたり原稿、資料等提供にご協力いただきました皆様に編集委員一同、深く感謝申し上げます。

この記念誌を多くの方に見ていただき、蓮田市スポーツ協会各団体の飛躍、発展、会員の拡大に役立てていただければ幸いです。

令和5年3月31日

蓮田市スポーツ協会創立50周年記念誌委員会

委員長 平松 秀雄

蓮田市スポーツ協会創立50周年記念誌委員会

委員長 平松 秀雄（蓮田市スポーツ協会副会長）
委員 岩崎 俊一（蓮田市スポーツ協会常任理事）
委員 加藤 啓一（蓮田市ソフトボール協会）
委員 矢島 悦夫（蓮田市スキー連盟）

事務局（教育委員会生涯学習部文化スポーツ課）

小野寺 潤（課長）
久保寺 隆（スポーツ振興担当）
矢島 悦夫（スポーツ振興担当）

創立50周年記念誌

「50年のあゆみ」

令和5年3月31日発刊

発行 蓮田市スポーツ協会

事務局 〒349-0133 埼玉県蓮田市大字閨戸2343番地1
(蓮田市総合市民体育館 パルシー)

TEL 048-768-1717 FAX 048-768-1817

E-mail : bunkakaikan@city.hasuda.lg.jp

印刷所 中央プリント株式会社

〒345-0024 北葛飾郡杉戸町大字堤根3947-2

TEL 0480-32-0045

